Multimedia Storage Viewer™

P-7000 / P-6000

EPSON
EXCEED YOUR VISION

操作ガイド



- 本書は、製品の近くに置いてご活用ください。
- 本書に掲載している画面とイラストはP-7000のものを使用していますが、操作はP-6000と同じです。

マニュアルについて

操作ガイド

本製品の使い方全般を説明しています。



印刷ナビゲーションガイド

本製品の印刷ナビゲーション機能の使い方を説明しています。
印刷ナビゲーション機能を使うと、レタッチをしたり、トリミングやレイアウトを設定して、画像を思い通りの作品に仕上げることができます。



上記のマニュアルは、すべて最新版（PDF 形式）をエプソンのホームページからダウンロードできます。
< http://www.epson.jp/support/camera/manual.htm >

本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。それぞれのマークには次のような意味があります。

！重要	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足情報や制限事項、および知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連した内容の参照先を示しています。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

●お探しの内容が見つからないときは、本書 90 ページ「索引」からキーワードで検索してみてください。

製品使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。
本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。

記号の意味

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
	この記号は、必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

取り扱い上のご注意

⚠警告	
	アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
	異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
	取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
	お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。
	可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 引火による火災のおそれがあります。
	各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

⚠ 警告

禁止	製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。 感電や火傷のおそれがあります。
禁止	開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災のおそれがあります。
指示	液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。 万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、付着物をふき取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。 • 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。 • 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。
禁止	本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。 感電・火災のおそれがあります。
禁止	布などで覆った状態で使用しないでください。 熱によるケースの変形や、感電・火災のおそれがあります。
指示	航空機内や病院など使用を制限された区域では、現場の指示（機内アナウンス等）に従ってください。
禁止	歩行中や、自動車・オートバイ・自転車などを運転しながら使用しないでください。 転倒・交通事故などにつながるおそれがあります。
指示	ストラップの取り扱いには注意してください。 ストラップが首に巻き付いて窒息するおそれがあります。
禁止	始めから大きな音量にしないでください。 突然大きな音が出て聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

⚠ 警告

禁止	本製品は精密な機械、電子部品で作られています。次のような場所での使用や保管は、感電・火災・動作不良・故障の原因となりますので、絶対に避けてください。 • 湿度変化の激しい場所　• 揮発性物質のある場所 • 水に濡れやすい場所　• 油煙やホコリの多い場所 • 火気のある場所 • 強い磁気の近く（スピーカーの近くなど） • 冷暖房機具に近い場所　• 振動や衝撃のある場所
禁止	雷が鳴り出したら、電源コンセントに接続されている機器（製品本体、電源コード、AC アダプタ、充電器、バッテリ）に触れないでください。 感電のおそれがあります。

⚠ 注意

禁止	本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 特に、子供のいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。
指示	各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。
指示	本製品を移動する際は、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。 コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。
禁止	不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に保管・放置しないでください。 落下によりけがをするおそれがあります。また、本製品が正しく動作しなくなるおそれがあります。

電源に関するご注意

⚠警告

禁止	**AC100V 以外の電源は使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
禁止	**電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
指示	**電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。** 感電・火災のおそれがあります。
禁止	**付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
禁止	**破損した電源コードを使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない
濡れ手禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電のおそれがあります。
禁止	**電源コードのたこ足配線はしないでください。** 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

⚠警告

指示	**電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
指示	**電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。** コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。
禁止	**本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

プラグを抜く	**長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。**

AC アダプタに関するご注意

⚠警告

指示	**AC アダプタを取り扱う際は、以下の点を守ってください。** 感電・火災のおそれがあります。 • 雨や水のかかる場所で使用しない • 電源コードで吊り下げない • コネクタにクリップなどの金属性のものを接触させない • 布団などで覆わない

⚠ 警告	
禁止	指定の AC アダプタ（A351H）以外は使用しないでください。また、指定の AC アダプタを本製品または弊社指定の充電器以外の機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。

バッテリに関するご注意

⚠ 危険	
分解禁止	分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災のおそれがあります。
禁止	バッテリを他の機器や他の用途に転用しないでください。 バッテリや他の機器を損傷するおそれがあります。
禁止	バッテリの＋と－を針金などの金属で接続（ショート）させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり保管しないでください。 発熱・発煙・破裂・発火・漏液のおそれがあります。
禁止	バッテリを火のそばや炎天下など、高温の場所（35℃以上）で使用・充電しないでください。また、40℃以上の場所に放置しないでください。 発熱・発煙・破裂・発火・漏液のおそれがあります。
禁止	バッテリに強い衝撃を与えないでください。 発熱・発煙・破裂・発火・漏液のおそれがあります。
禁止	バッテリを火中または水中に投入しないでください。 発熱・発煙・破裂・発火・漏液のおそれがあります。

⚠ 危険	
強制	バッテリが漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。 放置すると目を傷めるおそれがあります。
強制	バッテリが漏液して液が皮膚に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。異常がある場合には、速やかに医師に相談してください。
強制	バッテリの使用中、充電中、または保管中に異臭が生じたり、発熱・発煙・破裂・発火・漏液などの異常に気が付いたときは、液に触れないようにして機器から取り外し、エプソンの修理窓口にご相談ください。
水濡れ禁止	異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。
強制	バッテリを取り扱う際は、以下の点を守ってください。 感電・火災のおそれがあります。 • 金属部分に触らない • 電子レンジや高圧容器に入れない • 所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめる
禁止	指定のバッテリ（PALB3）以外は使用しないでください。また、指定のバッテリを本製品または弊社指定の充電器以外の機器で充電しないでください。 感電・火災のおそれがあります。

	⚠警告
禁止	子供の手の届く場所には、保管・放置しないでください。 バッテリを口に入れたり、飲み込んでしまうおそれがあります。バッテリを飲み込んでしまったときは、速やかに医師に相談してください。

車載充電器に関するご注意（P-7000 のみ）

	⚠警告
禁止	本製品は DC12V マイナスアース車専用です。24V 車で使用しないでください。 火災・故障のおそれがあります。
禁止	運転中に本製品を操作しないでください。 交通事故のおそれがあります。
禁止	前方の視界を妨げる場所、車の安全性を妨げる場所、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、置いたり取り付けたりしないでください。 交通事故・けがのおそれがあります。
禁止	助手席エアバッグの近くに本製品を置いたり取り付けたりしないでください。 エアバッグの動作を妨げ、事故・けがの原因となります。
禁止	水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには置いたり取り付けたりしないでください。 感電・火災・故障のおそれがあります。
禁止	炎天下など、高温の場所（40℃以上）で使用しないでください。また、60℃以上の場所に放置しないでください。 発熱・発煙・破裂・発火・漏液のおそれがあります。

	⚠警告
禁止	直射日光が当たらないようにしてください。 火災・故障のおそれがあります。
禁止	本製品の上に化粧品・薬品・水などの入った容器や小さな金属類、燃えやすい物、異物を置かないでください。 こぼれたり、中に入ったりすると、火災・感電の原因となります。
禁止	電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。 火災・感電の原因となります。
指示	本製品は車のエンジンをかけた状態で使用してください。充電終了後は、カーアダプタをシガーライターソケットから取り外してください。 長時間エンジンを停止したまま本製品を使用すると、車のバッテリがあがることがあります。
指示	この充電器はリチウムイオンバッテリ専用です。 指定されたバッテリ（型番 PALB3）以外のバッテリを使用すると、発火・漏液・発熱・破裂の原因となります。
禁止	同梱のカーアダプタは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。 火災・故障の原因となります。
指示	本製品には必ず、付属のカーアダプタと指定の AC アダプタ（型番 A351H）をお使いください。

	⚠注意
指示	お手入れの際には本製品の電源配線を外してから行ってください。 感電の原因となります。
禁止	本製品を立てたまま放置しないでください。

液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合がありま す。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

データの保護について

- 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。また、持ち運び時に過度の衝撃を与えないようにご注意ください。内蔵ハードディスクが故障したり、データを消失・破損させるおそれがあります。
- パソコンからは、本製品のハードディスクを絶対にフォーマットしないでください。パソコンからフォーマットすると、製品が使用できなくなります。この場合の修理は有償になります。
- 本製品、USB 機器、またはメモリカードなどのメディアを譲渡するとき、廃棄するとき、貸すとき、修理に出すときなど、個人的な画像データを見られたくないときは、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、データを完全に消去することをお勧めします。パソコン上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、メモリカードなどのメディアを物理的に破壊することもお勧めします。

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、本製品やメモリカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 強い磁気にさらされたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 本製品に過度の衝撃が加わったとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災による被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。データのバックアップ作業および復元作業は、弊社では行っておりません。お客様の責任の下、お客様ご自身で行っていただきますよう、お願いいたします。

本製品の取り扱いについて

本製品を立てた状態で放置しないでください。倒れると、本製品の動作不良や故障のおそれがあります。

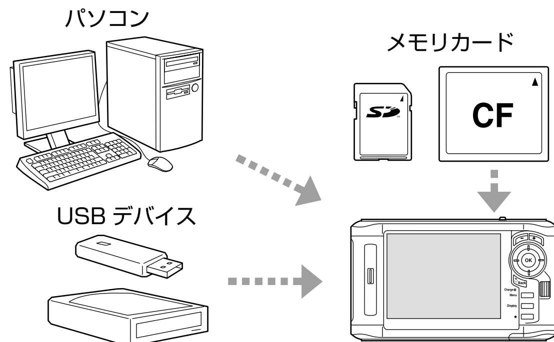
「つゆつき」について

寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、本製品の内部に水滴が生じる（結露する）ことがあります。結露した状態で使用すると故障するおそれがあります。寒いところから暖かいところへ持ち込むときは、できるだけ本製品を密閉し周囲の温度になじませてから取り出してください。

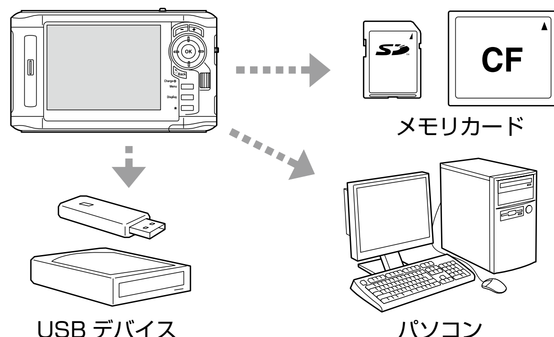
結露した場合は、メモリカード、電池を本製品から取り出し、水滴が消えてからお使いください。

こんなことができます

画像・音楽データを本製品に取り込んで、保存できます。(☞ 本書 21 ページ「データを本製品に取り込む」)



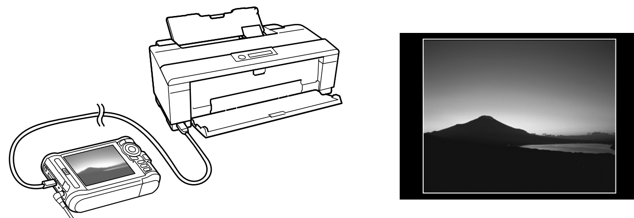
本製品のデータをメモリカード、USB デバイス、パソコンなどに保存できます。(☞ 本書 30 ページ「本製品から別の機器にコピーする」)



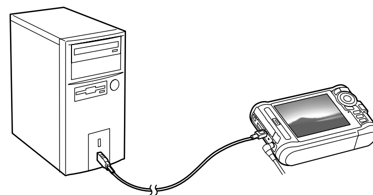
画像を見たり、RAW データを現像したり、JPEG データを編集したりできます。(☞ 本書 33 ページ「静止画 / 動画を楽しむ」)



印刷ナビゲーション機能を使って、オリジナル作品を作ることができます。(☞ 別冊『印刷ナビゲーションガイド』)

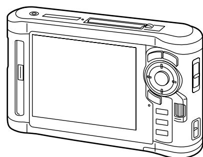


本製品をパソコンに接続して、USB モニタとして使用することができます。本製品は Adobe RGB 表示が可能なため、色表示を確認しながら画像を編集できます。(☞ 本書 16 ページ「USB ディスプレイプラグイン」)

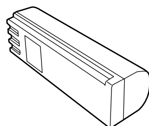


箱の中身を確認する

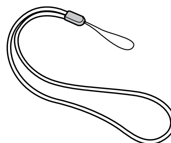
以下のものが同梱されていること、それぞれの部品に損傷がないことをお確かめください。
万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。



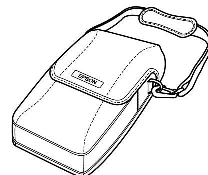
□ 本製品



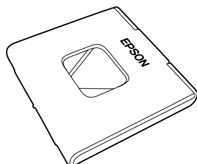
□ リチウムイオンバッテリ



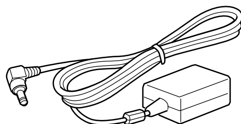
□ ストラップ



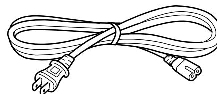
□ キャリングケース＊1



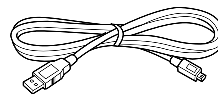
□ スタンド＊2



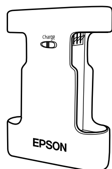
□ AC アダプタ



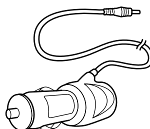
□ 電源コード



□ USB ケーブル



□ 車載充電器＊2



□ カーアダプタ＊2
（車載充電器専用）



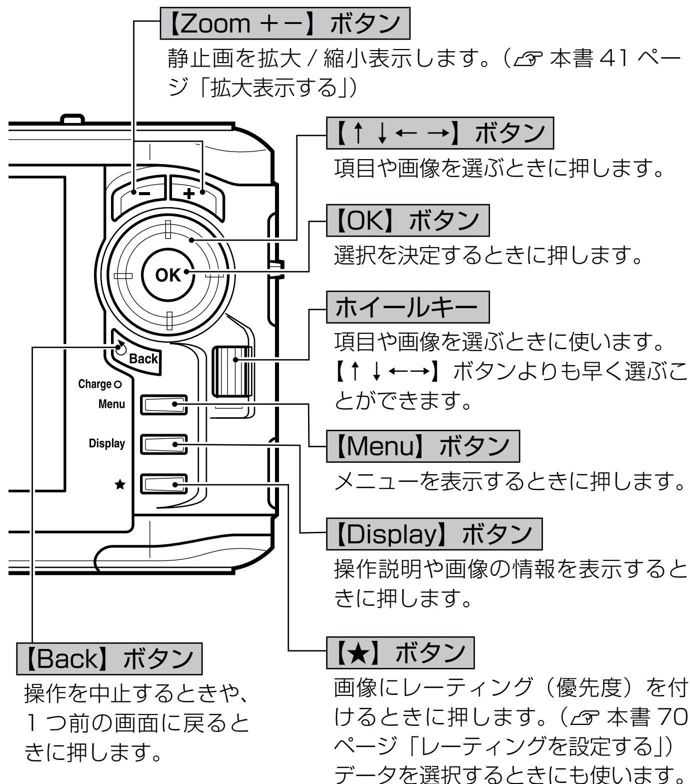
□ 取扱説明書

□ 保証書

＊ 1：本製品を持ち運ぶときや保管するときにお使いください。P-6000 の場合は、形状が異なります。
＊ 2：P-7000 のみに同梱されています。

各部の名称と働き

正面（ボタン）



【Zoom ＋－】ボタン
静止画を拡大 / 縮小表示します。（☞ 本書 41 ページ「拡大表示する」）

【↑ ↓ ← →】ボタン
項目や画像を選ぶときに押します。

【OK】ボタン
選択を決定するときに押します。

ホイールキー
項目や画像を選ぶときに使います。【↑ ↓ ←→】ボタンよりも早く選ぶことができます。

【Menu】ボタン
メニューを表示するときに押します。

【Display】ボタン
操作説明や画像の情報を表示するときに押します。

【★】ボタン
画像にレーティング（優先度）を付けるときに押します。（☞ 本書 70 ページ「レーティングを設定する」）データを選択するときにも使います。

【Back】ボタン
操作を中止するときや、1 つ前の画面に戻るときに押します。

上面

SD メモリーカードスロット
SD メモリーカード、MMC（マルチメディアカード）を挿入します。

CF カードスロット
CF カード、マイクロドライブを挿入します。

ヘッドホン出力コネクタ
ヘッドホンを接続します。（本製品にはヘッドホンは同梱されておりません。お手持ちのヘッドホンをお使いください。）

CF カードイジェクトボタン
CF カード、マイクロドライブを取り出すときに押します。

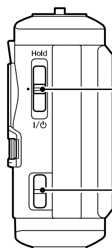
底面

スピーカー
操作音、音声、音楽を再生します。

バッテリカバー
バッテリをセットするときに開きます。

側面

右側面



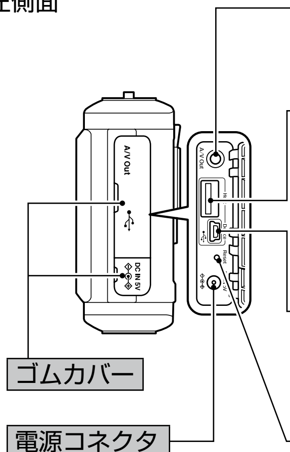
電源スイッチ

電源をオン / オフします。（☞ 本書 15 ページ「電源を入れる」）

ストラップ取付部

ストラップを取り付けます。

左側面



ビデオ出力コネクタ

ビデオケーブル（別売）を接続します。

USB インターフェイスホストコネクタ

外付けハードディスクやカードリーダー、デジタルカメラなど USB デバイスと接続するとき、USB ケーブルを接続します。

USB インターフェイスデバイスコネクタ

プリンタやパソコンと接続するとき、USB ケーブルを接続します。

リセットボタン

押すと、再起動します。本製品の動作が不安定になったときに押します。（☞ 本書 79 ページ「リセットの仕方」）

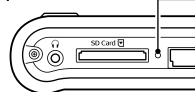
ゴムカバー

電源コネクタ

AC アダプタを接続します。

ランプ部

上面

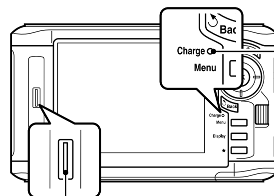


アクセスランプ（オレンジ）

メモリカードへのアクセス状況を示します。

- 点灯：アクセス中
- 消灯：アクセスしていない

正面



充電ランプ

バッテリ充電時の状態を示します。

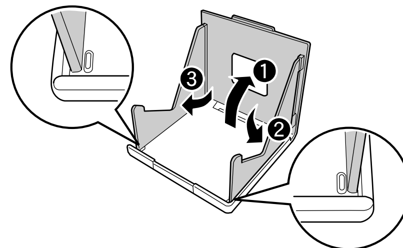
- グリーン点灯：充電中
- 消灯：充電完了
- オレンジ点灯：充電できない状態（☞ 本書 74 ページ「充電できない（充電ランプがオレンジ色で点灯している）」）

イルミネーションランプ（ブルー）

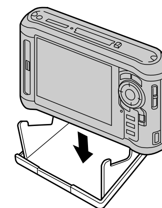
各種処理中、省電力機能による液晶ディスプレイオフ時に点滅します。

スタンドの使い方（P-7000 のみ）

①背面板を起こして、側面板を広げる

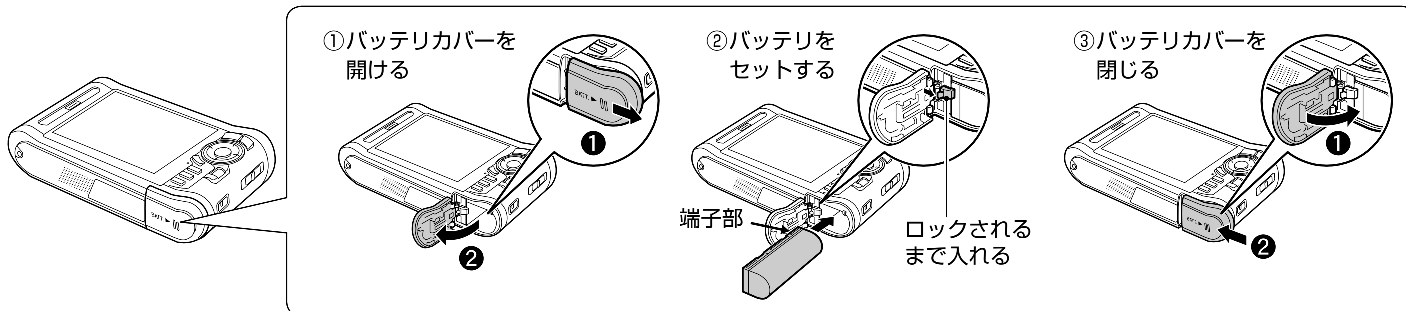


②本製品をセットする



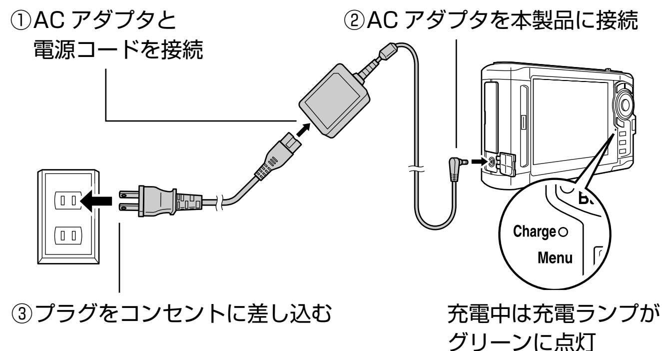
バッテリを充電する

バッテリを本製品にセットする



AC アダプタを接続して充電する

AC アダプタの入力電圧は AC100 ～ 240V です。
電源コード部分は AC100V 専用です。



!重 要

- AC アダプタを接続する前に、必ずバッテリをセットしてください。AC アダプタのみで使用すると、停電や不意の電圧低下により、本製品に保存したデータが壊れるおそれがあります。
- 印刷時、パソコン接続時、USB デバイス接続時、音楽リスト更新時は、必ず AC アダプタを接続して使用してください。不意のバッテリ切れ（電圧低下）などにより本製品に保存したデータが壊れるおそれがあります。

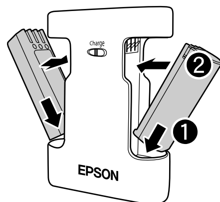
参考

- バッテリの端子が汚れていると、充電されないことがあります。乾いた柔らかい布で端子部の汚れをふいてください。
- 動作中の充電時間は非動作時よりも長くなります。

車載充電器を使って充電する（P-7000 のみ）

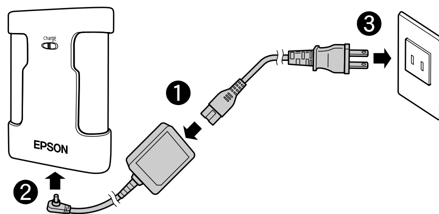
付属の車載充電器を使ってバッテリを充電できます。予備のバッテリ（別売）を用意して、下図のようにバッテリを２本同時に充電することもできます。また、付属のカーアダプタを使って車のシガーソケットに接続すると、車内で充電できます。

①バッテリをセットする

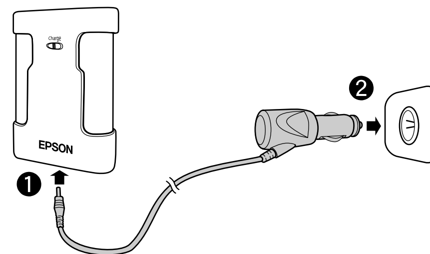


②AC アダプタ / カーアダプタに接続する

＜ AC アダプタの場合＞



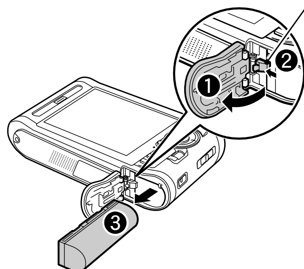
＜カーアダプタの場合＞



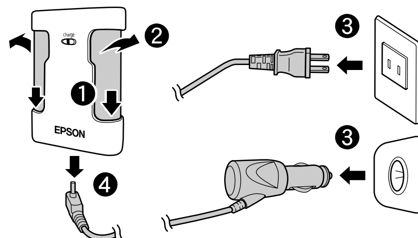
バッテリを取り外す

＜本製品から取り外す＞

ロックを外す



＜車載充電器から取り外す（P-7000 のみ）＞

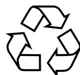


！重 要

- バッテリを交換するときは本製品の電源をオフにしてください。また、AC アダプタを使用しているときは、一旦 AC アダプタを取り外してください。

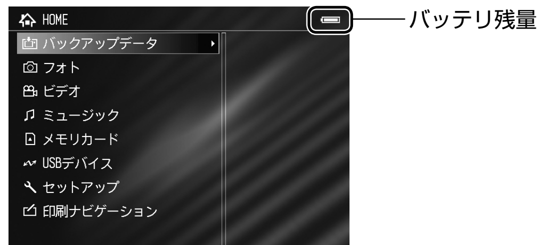
バッテリ使用上のご注意

- 購入時には十分に充電されていませんので、お使いいただく前に必ず充電してください。
- 本製品を使用していないときでも、バッテリは少しずつ放電しています。お使いいただく前にはバッテリを充電することをお勧めします。
- バッテリの特性上、十分に充電された状態でも寒冷地では使用時間が短くなります。バッテリをポケットに入れて暖めたり、予備のバッテリを用意するなどしてください。なお、カイロなどをご使用になるときは、カイロがバッテリに直接触れないよう、ご注意ください。
- バッテリを充電するときは、事前に放電したり、使い切る必要はありません。
- 充電直後や使用直後は、バッテリが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電は、周囲の温度が 5 ～ 35℃の場所で行ってください。低温で充電すると十分な充電ができません。また、高温で充電するとバッテリを劣化させるおそれがあります。
- このバッテリは、常温で使用した場合、約 300 回繰り返し充電することができます。（使用条件によって異なることがあります。）十分に充電しても使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリの寿命と考えられます。このときは新しいバッテリをお求めください。
- 不要になったバッテリは、捨てないで最寄りの充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。なお、バッテリパックは＋極、－極の金属端子部をテープなどで絶縁し、分解せずにリサイクル箱へお出しください。詳細については、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
＜ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html ＞



Li-ion

バッテリ残量を確認するには



バッテリ残量が半分以上あります。

バッテリ残量が半分以下です。

バッテリ残量がほとんどありません。

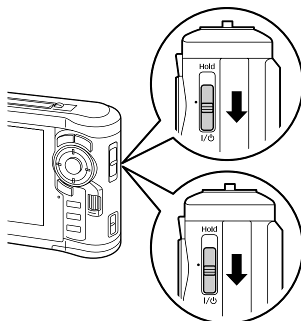
充電中です。

参考

- バッテリの充電時間、駆動時間については本書 82 ページ「本製品の仕様」を参照してください。

電源を入れる

電源のオン / オフ



電源をオンにする

スイッチを下に押し下げます。

電源をオフにする

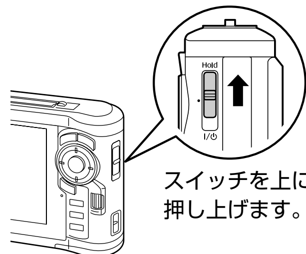
スイッチを下に『Shutting Down…』と画面に表示されるまで押し下げます。

参考

- アクセスランプ（オレンジ）が点灯しているときに電源スイッチを押し下げた場合は、ファイルへのアクセスが途切れた時点で電源がオフになります。

ホールドスイッチの使い方

他の操作を受け付けないように、ボタン操作を無効にできます。



スイッチを上に押し上げます。

ホールド状態のときは、画面右上に Hold が表示されます。

最初に電源を入れたときは

1 言語の設定をします。

①【↑ ↓】ボタンで言語を選択
②【OK】ボタンを押す

2 日時の設定をします。



①【←→】ボタンで項目を移動
②【↑ ↓】ボタンで数値を変更
③設定し終わったら、[決定] を選択
④【OK】ボタンを押す

!重要

- 表示言語を設定した後は、不用意に言語を変更しないでください。言語の設定を変更すると、ファイルやフォルダにアクセスできなくなることがあります。（☞ 本書 87 ページ「言語設定を変更するときは」）

ソフトウェアについて

本製品のハードディスクには、以下のソフトウェアが収録されています。（☞ 本書 19 ページ「ソフトウェアをインストールする」）

● Epson Link2

本製品とパソコンのデータやりとりに使用するソフトウェアです。詳しくは Epson Link2 のオンラインヘルプをご覧ください。

● USB ディスプレイプラグイン

Adobe Photoshop CS など、Adobe 製の画像編集ソフトウェア使用時に、本製品を USB ケーブルでパソコンと接続し、本製品の液晶ディスプレイでソフトウェアのアクティブ領域の画像を表示することができます。
USB ディスプレイプラグイン使用時は、［セットアップ］画面で設定された明るさや色温度などが表示に反映されます。

● QuickTime（Windows のみ）

動画を見るときに必要です。

USB ディスプレイプラグインの起動方法

①USB ディスプレイ対応の Adobe 製画像ソフトウェアで画像を開きます。

②本製品をパソコンに接続します。（☞ 本書 17 ページ「パソコンに接続する」）

③HOME 画面で［USB デバイス］を選択します。

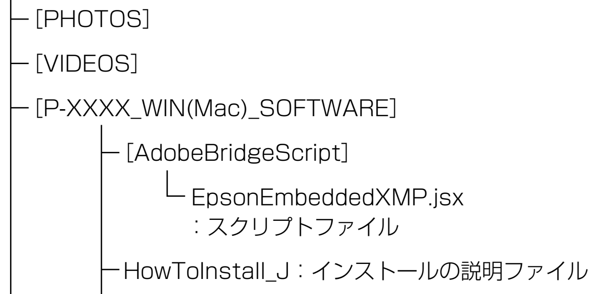
④［USB ディスプレイとして使う］を選択します。
自動的に USB ディスプレイが始まります。

※ 終了したいときは、本製品をパソコンから取り外します。（そのまま USB ケーブルを取り外せます。）

Adobe Bridge をお使いのお客様へ

本製品でレーティングを設定した画像ファイルを Adobe Bridge で扱う場合は、「スクリプトファイル」をインストール・実行してください。「スクリプトファイル」を実行することで、レーティング情報が画像ファイルに埋め込まれます。
スクリプトファイルは、以下の場所に保存されています。

［P-XXXX］（本製品の機種名）



スクリプトファイルの実行方法については、Epson Link2 オンラインヘルプ「レーティング情報を Adobe Bridge で活用したい」または、上記の「HowToInstall_J」をご覧ください。

Epson Link2/USB ディスプレイプラグインのシステム条件

	Windows	Mac OS
対応 OS	Windows 2000 SP3 以降 /Windows XP/ Windows Vista	Mac OS X v10.3 以降
CPU	Pentium Ⅲ以上で上記の OS が動作すること（推奨：2.0GHz 以上）	PowerPC G4 以上または Intel 社製プロセッサ（推奨：PowerPC G5 以上）
メモリ	256MB 以上（推奨：512MB 以上）	512MB 以上（推奨：1GB 以上）
ハードディスク容量	1GB 以上	
ディスプレイ	800 × 600 以上	
その他	USB ポート	

USB ディスプレイプラグインを使用できる Adobe 製ソフトウェアは、以下の通りです。

- Adobe Photoshop CS＊1、CS2、CS3
- Adobe Photoshop Elements 4.0、5.0＊2、6.0

＊ 1：Macintosh は非対応です。
＊ 2：Macintosh 版は販売されていません。

USB ディスプレイプラグイン使用時には、Adobe 製ソフトウェアの一部の機能は使用できません。詳細は下記の場所にあるドキュメントファイルをご覧ください。
［スタート］（Mac OS X の場合は［アプリケーション］）－［Epson］－［Viewer Tools］－［USB Display］の［はじめにお読みください］

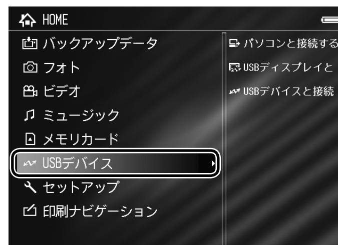
パソコンに接続する

参考

- Windows で USB 接続するためには、以下の条件のいずれかを満たしている必要があります。
  - Windows 2000＊/Windows XP/Windows Vista のいずれかがインストールされているパソコン
  - Windows 98 SE/Windows Me がプレインストールされていて、Windows 2000＊/Windows XP にアップグレードしたパソコン
  - 上記いずれかのパソコンで、USB に対応し、パソコンメーカーにより USB ポートの動作が保証されているパソコン

  ＊：ServicePack3 以降をインストールする必要があります。

1 HOME 画面で［USB デバイス］を選択します。



①【↑ ↓】ボタンで［USB デバイス］を選択

②【→】ボタンを押す

参考

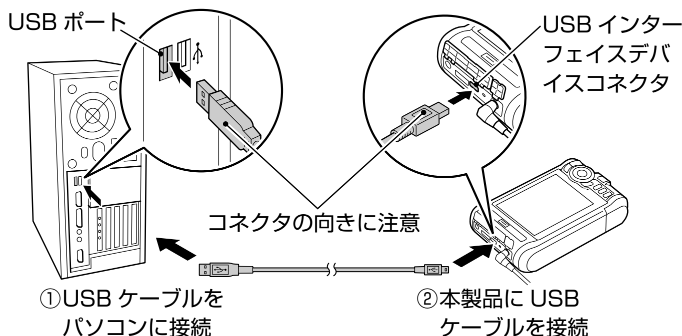
- 本製品をパソコンに接続して、HOME 画面で【★】ボタンを押しても、パソコンに認識されます。

2 ［パソコンと接続する］を選択します。

①【↑ ↓】ボタンで［パソコンと接続する］を選択
②【OK】ボタンを押す

3 AC アダプタを接続し、パソコンに接続します。

☞ 本書 12 ページ「AC アダプタを接続して充電する」



！重 要

- パソコン接続時は､必ずACアダプタを接続して使用してください。
- USB インターフェイスホストコネクタに触ったり、他のケーブル等を差し込んだりしないでください。
- パソコンやプリンタと接続するとき以外は、本製品から USB ケーブルを取り外してお使いください。

参考

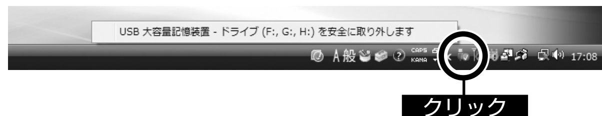
- Windows XP/Windows Vista の場合は、本製品を接続すると、Windows が実行する動作を選ぶ画面が表示されます。「フォルダを開いてファイルを表示する」を選ぶと、本製品内のデータが表示されます。

パソコンから取り外すときは

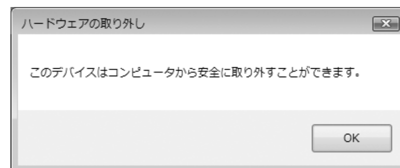
［パソコンと接続する］を選んで接続した場合は、以下の方法で取り外してください。（本製品を USB ディスプレイとして使う場合はそのまま取り外せます。）

■ Windows の場合

①［ハードウェアの安全な取り外し］をクリックします。

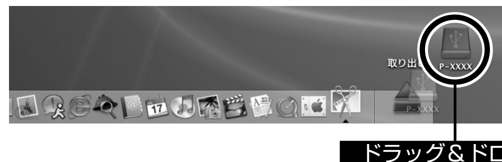


②以下のメッセージが表示されたら USB ケーブルを取り外します。



■ Mac OS X の場合

①パソコンの画面に表示されている、本製品を示すアイコンを［ごみ箱］にドラッグアンドドロップします。



②USB ケーブルを取り外します。（本製品の画面は USB ケーブルを取り外すまで変わりません。）

ソフトウェアをインストールする

他のアプリケーションを起動している場合は終了してください。

参考

- 「コンピュータの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。

1 本製品をパソコンに接続します。

☞ 本書 17 ページ「パソコンに接続する」

2 本製品のハードディスクに収録されているインストーラアイコンをパソコンに保存します。

■ Windows の場合

①［スタート］－［マイコンピュータ（コンピュータ）］の順でクリック（Windows 2000 の場合はデスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリック）

②［P-XXXX］アイコンをダブルクリック

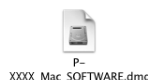
③［P-XXXX_WIN_SOFTWARE.EXE］アイコンをパソコンのお好きな場所へ保存



■ Mac OS X の場合

①デスクトップ上の［P-XXXX］アイコンをダブルクリック

②［P-XXXX_MAC_SOFTWARE.dmg］アイコンをパソコンのお好きな場所へ保存



参考

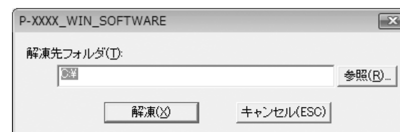
- 2 でパソコンに保存したインストーラは削除しないでください。もし間違えて削除してしまった場合はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp）からダウンロードしてください。

3 インストーラを解凍し、起動します。

Windows の場合は［P-XXXX_WIN_SOFTWARE.EXE］、Mac OS X の場合は［P-XXXX_MAC_SOFTWARE.dmg］をダブルクリックします。

参考

- Windows の場合、解凍先を選択します。



①お好きな場所を選択
②［解凍］をクリック

- Windows Vista の場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。［続行］をクリックしてください。
- Mac OS X の場合、CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてインストーラを起動させます。

4 ［おすすめインストール］をクリックします。



［おすすめインストール］では、以下のソフトウェアがインストールされます。

- Epson Link2
- USB ディスプレイプラグイン（パソコンに対応 Adobe 製ソフトウェアがインストールされている場合）
- QuickTime（Windows のみ）

5 ［インストール］をクリックします。

6 使用許諾契約書を確認し、［同意する］をクリックします。

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

7 「セットアップ言語の選択」画面が表示されたら、「日本語」を選択します。

8 次の画面が表示されたら、［完了］をクリックします。



以上でインストールは終了です。

インストール終了後、デスクトップに「MyEPSON」アシスタントのショートカットアイコンが作成されます。これをダブルクリックすると、「MyEPSON」登録画面が表示されますので、画面の指示に従って「MyEPSON」登録（ユーザー登録）していただくことをお勧めします。


「MyEPSON」アシスタント

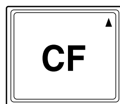
参考

- インストール後に Adobe Photoshop などの USB ディスプレイ対応ソフトウェアをインストールした場合は、4 で［カスタムインストール］を選択し、USB ディスプレイプラグインをインストールしてください。

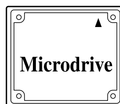
メモリカードのデータを取り込む

使用できるメモリカード

●コンパクトフラッシュ（CF）カード（TYPE Ⅱ）



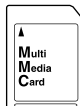
●マイクロドライブ



● SD メモリーカード
● SDHC メモリーカード



● MMC（マルチメディアカード）
● MMC Plus 4GB まで使用可



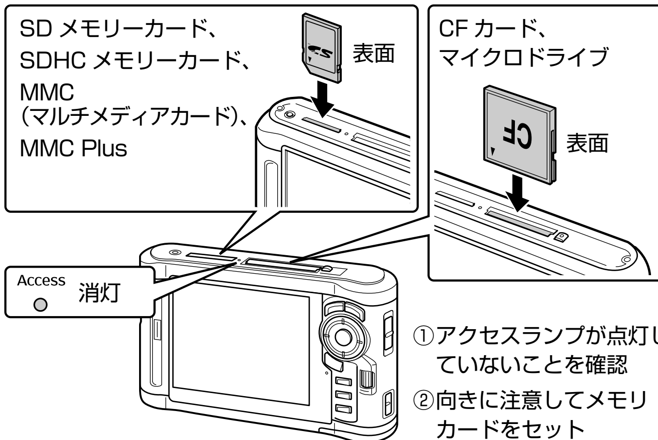
参考

- その他のメモリカードをお使いの場合は、市販のカードリーダーまたはアダプタカードが必要です。動作確認済みのアダプタカードについては、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）をご覧ください。
- SD メモリーカードの側面にあるノッチを「LOCK」方向にスライドさせると書き込み禁止となり、データのコピー（☞ 本書 30 ページ）はできなくなります。
- 一部のコンパクトフラッシュは、正常に動作しない場合があります。
- ご利用のメモリカードによっては、メモリカードを通して伝わる静電気により、本製品が誤作動することがあります。

! 重 要

- メモリカードの表面にシールなどを貼らないでください。カードが取り出せなくなったり、シールがはがれて故障の原因となる可能性があります。

メモリカードをセットする



参考

- CF カードスロットと SD メモリーカードスロットは、同時に挿入できます。
- メモリカードが挿入されると、画面右上にアイコンが表示されます。（表示されない画面もあります。）



SD メモリーカードが挿入されています。


ライトプロテクト（書き込み禁止）された SD メモリーカードが挿入されています。



CF カード / マイクロドライブが挿入されています。

メモリカードのデータを取り込む

メモリカードのデータを本製品に取り込みます。取り込み方は、次の3つの方法があります。

①メモリカードのすべてのデータを取り込む
②メモリカードと本製品との差分データのみを取り込む
③メモリカードのデータを選んで取り込む

①、②の場合は、[バックアップデータ]に日付フォルダが作られ、その中に保存されます。フォルダ構造を維持して非対応データを含み、①はすべてのデータ、②は差分データのみが取り込まれます。
③の場合は、取り込みたいデータを選択し、[フォト]または[ビデオ]に保存先を指定してコピーします。非表示データとフォルダは取り込めません。
※ パソコンでフォーマットしたメモリカードは使用できません。

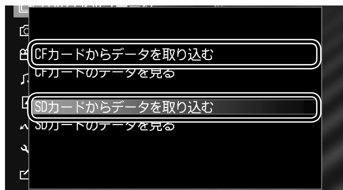
参考

- メモリカードのデータを削除する前に、データが正常に取り込まれていることを確認してください。

● メモリカードのすべてのデータを取り込む

1 メモリカードをセットします。

2 表示されたメニューから[CF/SD カードからデータを取り込む]を選択します。



①【↑ ↓】ボタンで[CF/SD カードからデータを取り込む]を選択
②【OK】ボタンを押す

3 取り込みが始まります。

参考

- [セットアップ] − [データ取り込み設定] − [データ取り込み後の処理]で[毎回確認する]に設定している場合は、確認画面が表示されます。(☞ 本書 85 ページ)

!重要

- アクセスランプが点灯している間は、メモリカードを抜き差ししないでください。データが破損するおそれがあります。

4 取り込んだデータを確認します。

取り込みが正常に終了すると、取り込み終了のメッセージが表示された後に、以下のデーター覧画面が表示されます。



フォルダ名

取り込むごとに、「取り込み日+ Y/M/D +連番」名でフォルダが作られます。
※ Y/M/D は日時表示形式を示しています。
(☞ 本書 27 ページ)

ファイル名

参考

- [セットアップ] − [データ取り込み設定]で、取り込み後の処理(検証、取り込み元のデータ削除など)やデータ取り込み完了音の設定ができます。(☞ 本書 85 ページ)
この設定は、[CF/SD カードからデータを取り込む]、[USB デバイスからデータ取り込み](☞ 本書 29 ページ)で取り込むときの共通の設定になります。

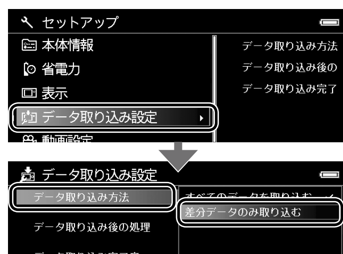
● メモリカードと本製品との差分データのみを取り込む

［バックアップデータ］に取り込まれていないデータを、本製品が選別して取り込みます。

1 ［セットアップ］画面を表示します。

①【↑ ↓】ボタンで［セットアップ］を選択
②【→】ボタンを押す

2 ［差分データのみ取り込む］を選択します。



①［データ取り込み設定］－［データ取り込み方法］－［差分データのみ取り込む］の順に選択
②【OK】ボタンを押す

参考

・設定を変更するまで、現在の設定が保持されます。すべてのデータを取り込むように戻すときは、1 ～ 2 を行い［すべてのデータを取り込む］を選択します。

3 データを取り込みます。

データ取り込みの操作は、本書 22 ページ「メモリカードのすべてのデータを取り込む」の手順と同じです。

参考

・差分データの取り込みは、時間がかかることがあります。

● メモリカードのデータを選んで取り込む

1 メモリカードをセットします。

2 表示されたメニューから［CF/SD カードのデータを見る］を選択します。

①【↑ ↓】ボタンで［CF/SD カードのデータを見る］を選択
②【OK】ボタンを押す

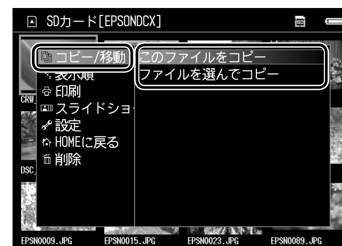
3 メモリカードのデータを確認します。

データを 1 個だけ取り込む場合は、そのデータを表示します。

参考

・メモリカードの非表示データ、フォルダの階層は表示されません。

4 メニューから目的の項目を選択します。



①【Menu】ボタンを押す
②【↑ ↓】ボタンで［コピー / 移動］を選択
③【→】ボタンを押す
④【↑ ↓】ボタンで目的の項目を選択
⑤【OK】ボタンを押す

●選択しているデータのみをコピーする場合
［このファイルをコピー］を選択（ 6 へ）

●データを選んでコピーする場合
［ファイルを選んでコピー］を選択（ 5 へ）

5 データを選択します。



①【↑ ↓← →】ボタンでデータを選択

②【★】ボタンでチェックを付ける / 外す
※【Zoom +】ボタンでチェックを付ける、【Zoom −】ボタンで外すこともできます。

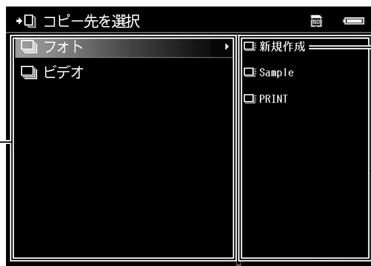
③選択し終わったら、【OK】ボタンを押す

参考

• 上記のようなデータ選択画面のメニューでは、次の設定ができます。

すべて選択	フォルダ内のすべてのデータを選択します。
すべて解除	すべての選択を取り消します。
決定して次へ	現在の選択を決定して、目的の動作を実行します。

6 コピー先を選択し、保存します。



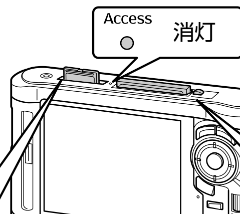
①【← →】ボタンで目的の階層を表示

②【↑ ↓】ボタンで目的のフォルダを選択

③【OK】ボタンでコピー

［新規作成］を選択した場合は、文字入力画面が表示されます。フォルダ名を入力します。（本書 59 ページ「ソフトキーボードを使った入力の仕方」）

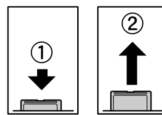
メモリカードを取り出す



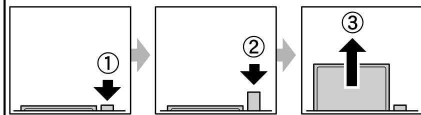
①アクセスランプが点灯していないことを確認

②メモリカードを取り出す

● SD メモリーカードスロットの場合
①カードを押す
→カードが出てきます
②カードを引き抜く



● CF カードスロットの場合
①ボタンを押す→ボタンが出てきます
②もう一度ボタンを押す
→カードが出てきます
③カードを引き抜く



! 重要

• CF カードイジェクトボタンが飛び出ている状態で本製品を使用すると、本製品が破損するおそれがあります。必ず、押し込んだ状態で使用してください。

パソコンのデータを取り込む

万一に備え、パソコンから本製品にデータを取り込むときは、パソコン側にもデータを残しておいてください。

Epson Link2 でデータを取り込む

付属のソフトウェア「Epson Link2」を使うと、簡単にデータを取り込むことができます。（☞ 本書 16 ページ「ソフトウェアについて」）
Epson Link2 の詳しい使い方については、Epson Link2 のオンラインヘルプをご覧ください。

1 本製品をパソコンに接続します。

☞ 本書 17 ページ「パソコンに接続する」

2 Epson Link2 を起動します。

■ Windows の場合

［スタート］メニュー－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON］－［Epson Link2］－［Epson Link2］の順にクリックします。

■ Mac OS X の場合

［アプリケーション］フォルダー［EPSON］フォルダにある［Epson Link2］アイコンをダブルクリックします。

3 データを取り込みます。

①モードを選択

静止画データ：［フォト］をクリック
動画データ　：［ビデオ］をクリック
音楽データ　：［ミュージック］をクリック

②取り込むデータを選択

ここにパソコンのデータが表示されています。



③転送先のフォルダを選択

ここに本製品のデータが表示されています。

④取り込みを開始

［下へコピー］ボタンをクリック

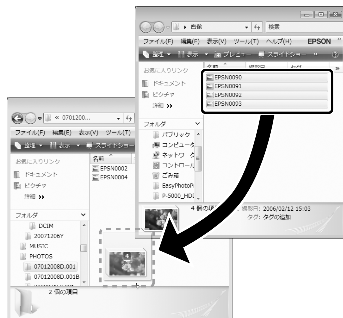
パソコンのエクスプローラで取り込む

1 本製品をパソコンに接続します。

☞ 本書 17 ページ「パソコンに接続する」

2 パソコンを操作して、データを取り込みます。

本製品は、外付けハードディスクとして認識されます。（☞ 本書 26 ページ「本製品のフォルダ構成」）



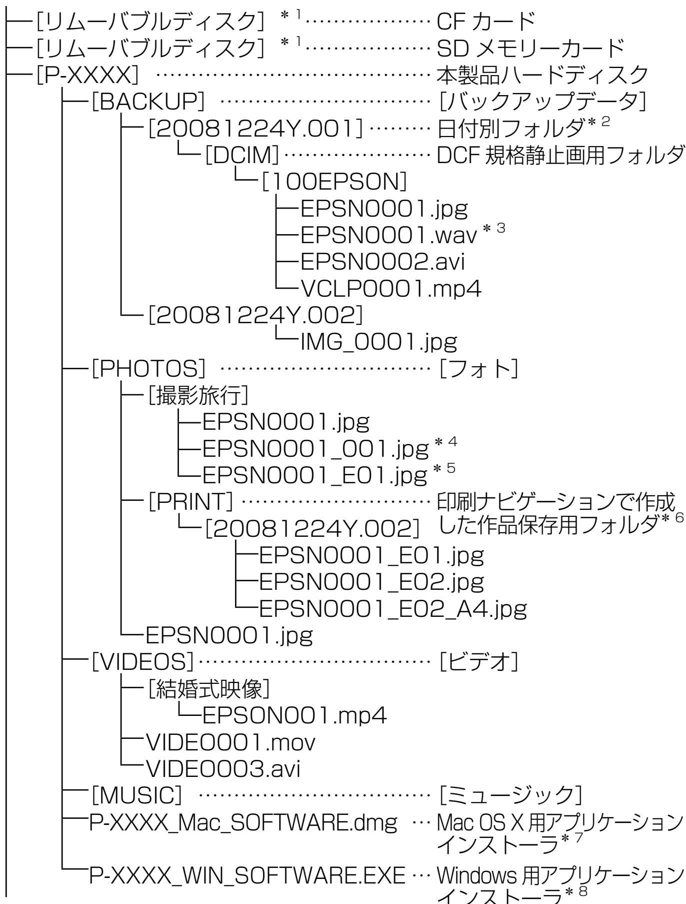
! 重要

- データは、［PHOTOS］または［VIDEOS］フォルダへコピーしてください。本製品には、非対応データ（BMP 画像や文書ファイルなど）も保存することができます。（保存はできますが、再生 / 表示できるのは本製品が対応しているデータのみです。）
- 音楽データは、Epson Link2 を使用して本製品の［MUSIC］フォルダへコピーすることをお勧めします。
  通常のマウス操作で［MUSIC］フォルダへコピーすることもできます。コピー後は、本製品の［ミュージック］画面で［音楽リスト更新］を実行してください。
- ［BACKUP］フォルダへはコピーをしないでください。

参考

- パソコンからの操作でファイルの属性を「読み取り専用」にすると、本製品で保護設定した場合と同等の状態になります。

本製品のフォルダ構成



＊1：Mac OS X の場合は、本製品にメモリカードがセットされているときに、そのカード名が表示されます。本製品をカードリーダーとして使用できます。
＊2：日付別フォルダのフォルダ名は、「取り込み日 Y/M/D 連番」で付けられます。Y/M/D は、日時表示形式を示しています。
例）2008 年 12 月 24 日の場合
年月日：20081224Y.001
月日年：12242008M.001
日月年：24122008D.001
この設定は［セットアップ］－［日時］で変更できます。
＊3：再生可能な音声メモファイル（WAV 形式）です。
＊4：フォルダ内に同一のファイル名のデータが保存された場合、「_ 連番」が付けられます。
＊5：JPEG レタッチデータ、RAW 現像データのファイル名は、「元データのファイル名 _E 連番」で付けられます。
＊6：印刷ナビゲーション機能を使うと、作品を作成するごとに日付別フォルダが「取り込み日 Y/M/D 連番」名で作られ、その中に作品ファイルが保存されます。作品のファイル名は次のように付けられます。
レタッチデータ : 元データのファイル名 _E 連番
トリミングデータ : 元データのファイル名 _E 連番
印刷レイアウトデータ : 割り付け画像データのファイル名 _ 用紙サイズ
＊7：ディスクイメージファイルです。
＊8：自己解凍形式ファイルです。

！重要

- ［BACKUP］、［PHOTOS］、［VIDEOS］、［PRINT］、［MUSIC］フォルダは、本製品が正常に動作するために必要です。フォルダ名を変更したり、フォルダを削除したりしないでください。

USB デバイス / デジタルカメラのデータを取り込む

以下のような USB デバイスから、パソコンを使わずにデータを取り込むことができます。

- 外付けハードディスク
- USB フラッシュメモリ
- デジタルカメラ
- カードリーダー

※ CD/DVD ドライブからは、データを取り込むことはできません。本製品から CD-R/DVD-R へコピーすることはできます。

使用できる USB デバイス

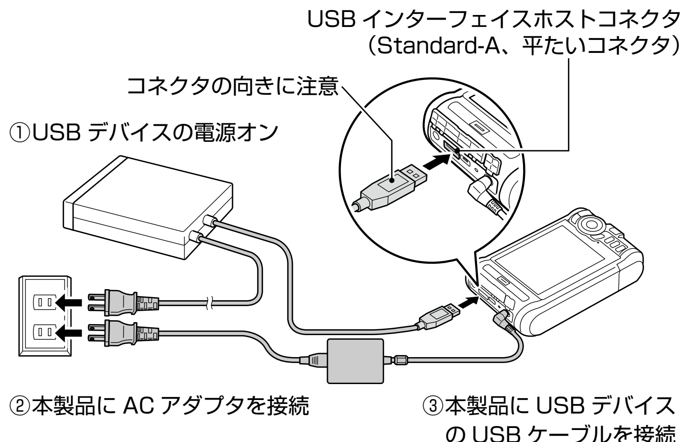
本製品と接続してご利用いただける USB デバイス（CD/DVD ドライブ含む）の仕様条件は、以下の通りです。（本製品に接続できても使用できない USB デバイスもあります。）

- USB インターフェイス（USB2.0 ハイスピード対応）
- フォーマット形式：FAT12/16/32、VFAT
- USB マスストレージクラスのデバイス

！重要

- 以下の USB デバイスは使用できません。
  - 認証機能や暗号化機能付きの USB デバイス
  - USB ハブ経由の USB デバイス
  - マスストレージ非対応のデジタルカメラ
- 電源のない USB デバイスは、動作しない場合があります。
- USB デバイスに AC 電源がある場合は、必ず USB デバイスにも AC アダプタを接続してください。
- 本製品に AC アダプタを接続しないと、動作しない USB デバイスがあります。

USB デバイスを接続する



重要

- USB デバイスにアクセス中にバッテリ残量がなくなるのを防ぐため、必ず本製品に AC アダプタを接続してください。
- USB ケーブルは、USB デバイスに付属のものを使用してください。本製品付属の USB ケーブルは使用しないでください。
- 本製品にはホストコネクタとデバイスコネクタの 2 種類の USB インターフェイスコネクタがあります。両方のコネクタへ同時に USB ケーブルを接続しないでください。また、デバイスコネクタに触ったり、他のケーブル等を差し込んだりしないでください。
- カードリーダーに接続するときは、接続する前にメモリカードを挿入しておいてください。また、複数のカードスロットがある場合は、メモリカードを 1 枚だけ挿入してください。

USB デバイスのデータを取り込む

USB デバイスのデータを本製品に取り込みます。取り込み方は、メモリカードの取り込み方と同様に次の 3 つの方法があります。

① USB デバイスのすべてのデータを取り込む
② USB デバイスと本製品との差分データのみを取り込む
③ USB デバイスのデータを選んで取り込む

①、②の場合は、［バックアップデータ］に日付フォルダが作られ、その中に保存されます。フォルダ構造を維持して非対応データを含み、①はすべてのデータ、②は差分データのみが取り込まれます。
③の場合は、取り込みたいデータを選択し、［フォト］または［ビデオ］に保存先を指定してコピーします。非表示データとフォルダは取り込めません。

※ USB デバイスのフォルダ構造が DCIM 形式ではない場合は、①と②の方法での取り込みはできません。

1 すべてのデータまたは差分データのみを取り込む場合は、データ取り込み方法を設定します。

☞ 本書23ページ「メモリカードと本製品との差分データのみを取り込む」

●すべてのデータを取り込む場合
［すべてのデータを取り込む］を選択

●差分データのみを取り込む場合
［差分データのみ取り込む］を選択

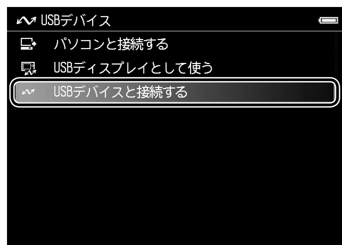
2 本製品に USB デバイスを接続します。

☞ 本書 28 ページ「USB デバイスを接続する」

3 HOME 画面で［USB デバイス］を選択します。

①【↑ ↓】ボタンで［USB デバイス］を選択
②【→】ボタンを押す

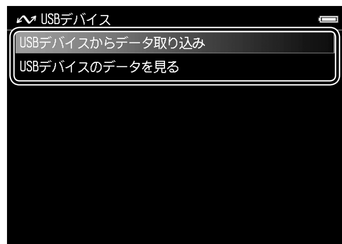
4 USB デバイスを検出します。



①【↑ ↓】ボタンで［USB デバイスと接続する］を選択

②【OK】ボタンを押す

5 表示されたメニューから目的の項目を選択します。



①【↑ ↓】ボタンで目的の項目を選択

②【OK】ボタンを押す

●すべてのデータ、差分データのみを取り込む場合
［USB デバイスからデータ取り込み］を選択（ 8 へ）

●データを選んで取り込む場合
［USB デバイスのデータを見る］を選択（ 6 へ）

※ USB デバイスのフォルダ構造が DCIM 形式ではない場合は、［USB デバイスからデータ取り込み］は表示されず、［バックアップデータの差分コピー］と表示されます。（☞ 本書 31 ページ「USB デバイスに本製品との差分データをコピーする」）

6 USB デバイスのデータを確認します。

データを 1 個だけ取り込む場合は、そのデータを表示します。

参考

- USB デバイスのデータのフォルダ構造が DCIM 形式の場合は、非表示データおよびフォルダ階層は表示されません。
- DCIM 形式ではない場合は、フォルダが表示されます。フォルダを選択すると、フォルダ構造を維持してフォルダ内のすべてのデータを取り込みます。

7 取り込み方、取り込むデータ、保存先を選択します。

☞ 本書 23 ページ「メモリカードのデータを選んで取り込む」 4 ～ 6

8 取り込みが始まります。

!重要

- 処理中は、USB ケーブルを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

参考

- 処理中に取り込みを中止したいときは【Back】ボタンを押します。
- 著作権保護などのため、セキュリティがかかったデータは取り込めないことがあります。

USB デバイスを取り外す

取り込みが終了していることを確認してから、USB ケーブルのコネクタを抜いてください。（本製品、USB デバイスとも電源オンのまま取り外せます。）

本製品のデータをメモリカード /USB デバイスにコピーする

[バックアップデータ]、[フォト]、[ビデオ] のデータをコピーできます。
[ミュージック] の音楽データはコピーできません。

※ 使用できるメモリカード /USB デバイスについては、本書 21 ページ「使用できるメモリカード」、27 ページ「使用できる USB デバイス」を参照してください。

参考

- ハードディスクは、ぶつけたり落としたりといった過度の衝撃に弱い性質を持っています。不意の故障に備えて、本製品内のデータは、こまめに USB デバイスなどへバックアップしてください。
- USB デバイスによっては、SD メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）機能が有効にならないことがあります。

CD-R/DVD-R へのコピー時の注意

- 本製品に CD/DVD ドライブを接続する前に、メディアをセットしておいてください。
- データが書き込まれていないメディアを使用してください。
- 1 度データを書き込んだ CD-R/DVD-R には、さらにデータを書き込むことはできません。
- DVD-R は、1 層式のみ対応しています。
- コピーするデータよりも大きい空き容量が、本製品のハードディスクにないとコピーできません。（本製品のハードディスクにコピーイメージを作成してからコピーするため）
- コピーするフォルダのサイズがメディアより大きい場合は、メディアがいっぱいになると新しいディスクを入れるようメッセージが表示されます。新しいメディアと取り替えてください。
- コピーするファイル 1 つのサイズがメディアより大きい場合は、コピーできません。

データをメモリカード /USB デバイスにコピーする

1 メモリカード /USB デバイスを本製品にセットします。

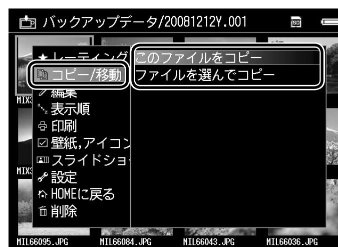
本書 21 ページ「メモリカードをセットする」
本書 28 ページ「USB デバイスを接続する」

メモリカードの場合、セット後にメニューが表示されたら、【Back】ボタンを押して HOME 画面を表示させます。

2 コピーしたいデータをデータ一覧画面で選択します。

本書 35 ページ「画像を表示する」

3 メニューから目的の項目を選択します。



①【Menu】ボタンを押す
②【↑ ↓】ボタンで［コピー / 移動］を選択
③【→】ボタンを押す
④【↑ ↓】ボタンで目的の項目を選択
⑤【OK】ボタンを押す

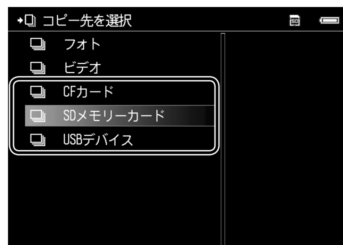
●選択しているデータをコピーする場合
［このファイルをコピー］を選択（ 5 へ）

●データを選んでコピーする場合
［ファイルを選んでコピー］を選択（ 4 へ）

4 コピーするデータを選択します。

☞ 本書 24 ページ「メモリカードのデータを選んで取り込む」5

5 コピー先を選択し、保存します。



①【↑ ↓】ボタンで［CF カード］/［SD メモリーカード］/［USB デバイス］を選択

②【OK】ボタンを押す

参考

- メモリカードや USB デバイスのデータを［バックアップデータ］に取り込むと、フォルダ構成を維持したまま保存されます。しかし、［バックアップデータ］のデータをメモリカードや USB デバイスにコピーすると、フォルダ構成は失われ、1 つの階層にまとめてコピーされます。
- 画像データをデジタルカメラにコピーしたり、メモリカードにコピー後デジタルカメラにセットしても、画像が表示されない場合があります。

USB デバイスに本製品との差分データをコピーする

本製品の［バックアップデータ］のデータを、日付別フォルダ単位で外付けハードディスクまたは CD-R/DVD-R にコピーします。その際、本製品がコピー状況を確認し、コピーされていないフォルダのみをコピーします。
CD-R/DVD-R へコピーする場合は、日付別フォルダ単位でコピーできますが、差分コピーはできません。

参考

- 一度本機能を使ってコピーされたフォルダは、フォルダの内容を変更しても、再度差分データをコピーすることはできません。

1 USB デバイスを本製品に接続します。

☞ 本書 28 ページ「USB デバイスを接続する」

2 HOME 画面で［USB デバイス］－［USB デバイスと接続する］の順に選択します。

3 ［バックアップデータの差分コピー］を選択します。

CD-R/DVD-R へコピーする場合は、［バックアップデータを CD/DVD へコピー］を選択し、コピーするフォルダを選択します。（☞ 本書 24 ページ「メモリカードのデータを選んで取り込む」5）

4 コピーが始まります。

コピーに十分な空き容量が確認されると、データ転送が始まります。

！重要

- 処理中は、USB ケーブルを外さないでください。データが破損するおそれがあります。

● USB デバイスを取り外すときは

コピーが終了していることを確認してから、USB ケーブルのコネクタを抜いてください。（本製品、USB デバイスとも電源オンのまま取り外せます。）

本製品のデータをパソコンにコピーする

参考

- ハードディスクは、ぶつけたり落としたりといった過度の衝撃に弱い性質を持っています。不意の故障に備えて、本製品内のデータは、こまめにパソコンなどへバックアップしてください。

Epson Link2 を使って、本製品の［バックアップデータ］のデータを、日付別フォルダ単位でパソコンにコピーする方法を説明します。Epson Link2 がコピー状況を確認し、コピーされていないフォルダのみをコピーします。なお、Epson Link2 の使い方については、詳しくは Epson Link2 のオンラインヘルプを参照してください。

1 本製品をパソコンに接続します。

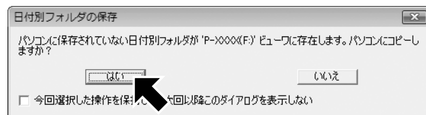
本書 17 ページ「パソコンに接続する」

2 Epson Link2 を起動します。

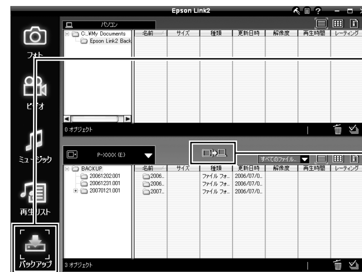
本書 25 ページ「Epson Link2 でデータを取り込む」2

参考

- 本製品の［バックアップデータ］に、まだパソコンにコピーされていないデータがある場合は、次の画面が表示されます。
［はい］をクリックすると、コピーが始まります。



3 データをコピーします。



4 コピーしたデータを削除する / しないを選択します。

コピーが終了すると、「日付別フォルダ保存後の削除」画面が表示されます。削除する場合は［はい］を、削除しない場合は［いいえ］をクリックします。

参考

- コピーしたデータは、「マイドキュメント」フォルダ（Windows）、「書類」フォルダ（Mac OS X）の「Epson Link2 Backup」フォルダに保存されます。このフォルダは、Epson Link2 の「設定」画面で、デスクトップや任意のフォルダ内に移動できます。
- Epson Link2 を使用しないでコピーをすると、コピー履歴が残らず、コピー済みのデータでもコピーされることがあります。
- パソコンのデータを本製品に取り込むときと同様に、パソコンのエクスプローラ操作でも、本製品のデータをパソコンにコピーできます。（本書 25 ページ「パソコンのエクスプローラで取り込む」）

● パソコンから本製品を取り外すときは

必ず、本書 18 ページ「パソコンから取り外すときは」の手順に従って取り外してください。

表示できる画像データ

静止画

本製品では、以下の形式の静止画データを表示できます。

データ形式	拡張子	詳細
JPEG（Exif）	jpg、jpeg、jpe	デジタルカメラで使われる標準画像形式 ・Exif Version1.0/2.0/2.1/2.2/2.21 準拠 ・DCF1.0/2.0 準拠
RAW	erf	エプソン製デジタルカメラの RAW データ
	crw、cr2	キヤノン製デジタルカメラの RAW データ
	nef	ニコン製デジタルカメラの RAW データ
	mrw	コニカミノルタ製デジタルカメラの RAW データ
	pef	ペンタックス製デジタルカメラの RAW データ
	orf	オリンパス製デジタルカメラの RAW データ
	raf	富士フイルム製デジタルカメラの RAW データ
	dng *	アドビシステムズが推奨する RAW データ形式
	arw	ソニー製デジタルカメラの RAW データ

＊：JPEG プレビューが含まれていない DNG ファイルや、カメラ内で作成された DNG ファイルは、画像が表示できない場合があります。

! 重要

- 本製品では、TIFF/プログレッシブJPEG/BMP/GIF/PICT などの静止画データは表示できません。

RAW データの表示について

RAW データの表示が可能なデジタルカメラについては、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）でご確認ください。

参考

- RAW 現像ソフトウェアで編集などを行った RAW データは、現像 / 表示できないことがあります。
- RAW データの簡易表示時は、色空間の情報が正しく取得できないために、Exif 情報に［不明］と表示されることがあります。［セットアップ］－［表示］－［色空間］で、sRGB と Adobe RGB を切り替えることができます。

● データサイズ / 画素数

最大画像サイズ：3100 万画素（最大画像アスペクト比 3：1）
最小画像サイズ：320 × 240 画素

動画

本製品では、以下の形式の動画データを再生できます。

拡張子	動画コーデック	音声コーデック	記録品質
AVI	MPEG4＊1	AAC	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） ＊4
		G.711 （μLaw, ALaw）	
		PCM	
		ADPCM（G.726, MS IMA ADPCM）	
	Motion-JPEG	G.711 （μLaw, ALaw）	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） 320 × 240（60fps）
		PCM	
		ADPCM（G.726, MS IMA ADPCM）	
MOV	MPEG4＊1	AAC	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） ＊4
		PCM	
	Motion-JPEG	G.711 （μLaw, ALaw）	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） 320 × 240（60fps）
		PCM	
		ADPCM（G.726, MS IMA ADPCM）	
MOV MP4 M4V	H.264＊2	AAC-LC (MPEG4 AAC)	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） ＊3
		PCM	
MP4	MPEG4＊1	AAC	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） ＊4

＊1：Advanced Simple Profile
＊2：Baseline Profile Level 1.3
＊3：以下の品質に対応しています。
- 2.5Mbps（平均）
- 3Mbps（ピーク）

＊4：以下の品質に対応しています。
- 4Mbps（平均）
- 8Mbps（ピーク）

参考

- 上記形式であっても、ファイルによっては本製品で再生できない場合があります。
- Real Video と OGM は再生できません。

● データサイズ / 解像度

本製品で再生できる動画データのサイズは、1 ファイルあたり最大 2GB までです。

本製品では以下の解像度の動画データを再生できます。
最大解像度：720 × 576 画素
最小解像度：160 × 120 画素

320 × 240 画素（60fps）の動画は、30fps で再生されます。

画像を表示する

メモリカードや USB デバイスから本製品へ取り込んだ画像は、［バックアップデータ］に保存されています。

本書では画面の名称を以下のように呼びます。

HOME 画面



①【↑ ↓】ボタンで［バックアップデータ］/［フォト］/［ビデオ］/［メモリカード］を選択

②【→】/【OK】ボタンを押す
【→】ボタン：階層で表示
【OK】ボタン：フォルダ内を表示

【→】

階層表示画面



①【↑ ↓】ボタンでフォルダを選択＊2

②【OK】ボタンでフォルダ内を表示

※ 選択したフォルダにサブフォルダがある場合は、【→】ボタンで下の階層を表示できます。

【OK】

データ一覧画面＊1



①【↑ ↓← →】ボタンでフォルダを選択＊2

②【OK】ボタンでフォルダ内を表示

データ一覧画面＊1



①【↑ ↓← →】ボタンで画像を選択＊2

②【OK】ボタンを押す

静止画表示 / 動画再生



※ 静止画表示時 / 動画再生時のボタン操作については、本書 36 ページ「静止画表示 / 動画再生時のボタン操作」を参照してください。

＊ 1：フォルダを選択し【OK】ボタンを押して表示される画面を、「データ一覧画面」と呼びます。フォルダ内のデータを、サムネイルまたはファイル名リストで表示します。

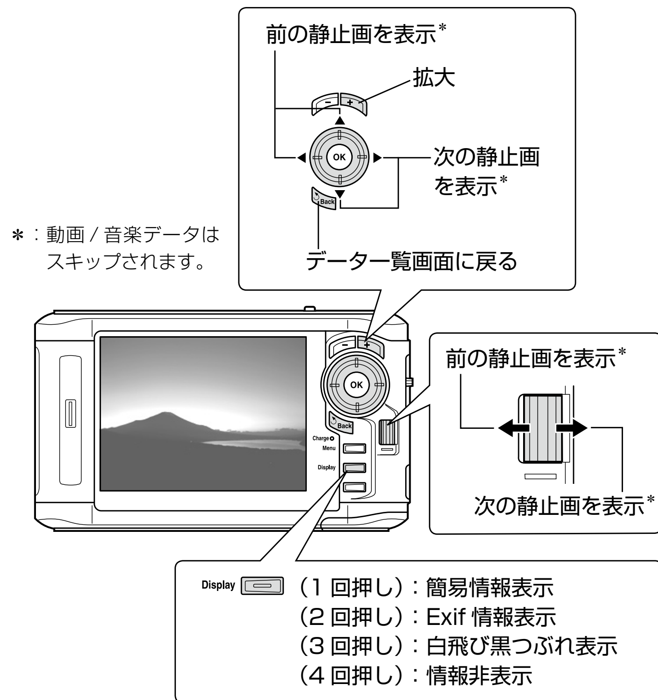
＊ 2：フォルダや画像は、ホイールキーでも選択できます。

参考

- 1 つ前の画面に戻りたいときは、【Back】ボタンを押します。
- データ一覧画面で【Display】ボタンを押すと、表示の仕方を変更できます。ボタンを押すごとに、サムネイル大→サムネイル小→リスト表示の順で切り替わります。
- 【Menu】ボタンを押すと、その画面で可能な操作のメニューが表示されます。▶ が表示されているメニューは、【→】ボタンを押すとサブメニューが表示されます。
- 操作の途中で HOME 画面に戻りたいときは、メニューの［HOME に戻る］を実行します。ただし、画面によって、この操作はできない場合があります。

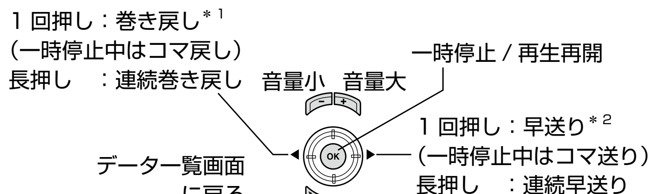
静止画表示 / 動画再生時のボタン操作

静止画表示時



動画再生時





＊ 1：巻き戻し
1 回押すごとに、4 段階で高速巻き戻しに切り替わります。
（【OK】ボタンを押すと通常再生に戻ります。）

＊ 2：早送り
1 回押すごとに、4 段階で高速早送りに切り替わります。
（【OK】ボタンを押すと通常再生に戻ります。）

参考

- 再生方法を、連続再生または1 ファイルのみに設定できます。連続再生の場合、フォルダ内の動画が順に再生（サブフォルダ内の動画はスキップ）されます。（本書 86 ページ「再生方法」）
- 前回途中で再生を中止した動画がある場合は、その続きから再生します。ただし、再生時間が 1 分以上の動画のみです。また、動画によっては記憶されないものがあります。
- メニューの［最初から再生］を選択すると、最初から再生できます。
- 動画によっては、早送り、巻き戻し、コマ送り、コマ戻しができない場合があります。

アイコンの意味

データ一覧画面に表示されるアイコンや情報は、次の内容を示しています。

● サムネイル大表示

フォルダ名 / ファイル名
フォルダ
現在表示しているフォルダの階層 / フォルダ名

● リスト表示

データの種類
保護表示
レーティング表示 / 動画再生状況表示
フォルダ名 / ファイル名
更新日時
データサイズ

①	タイトルアイコン	閲覧している場所を示すアイコン
②	JPG	JPEG 画像データ（リスト表示画面のみ表示）
③	RAW	RAW 画像データ
④		動画データ
⑤	♫、♪	音楽データ
⑥	?	非対応データ、本製品で表示 / 再生できないデータ（拡張子が doc、xls など、本製品に対応していないファイルの場合は、メニューまたは［セットアップ］（☞ 本書 85 ページ）で表示 / 非表示を設定できます。）
⑦	PV	プライベートフォルダ（☞ 本書 55 ページ）
⑧	★	レーティング表示（☞ 本書 70 ページ）
⑨		スクリーンセーバーに登録されているフォルダ（☞ 本書 40 ページ）
⑩		保護が設定されているデータ（☞ 本書 54 ページ）
⑪	NEW、N	未再生の動画
⑫	PAUSE、PA	再生途中で停止した動画
⑬		［フォト］［ビデオ］内のフォルダ（フォルダによってアイコンの形は異なります。）
⑭		音声メモが添付されているデータ（☞ 本書 52 ページ）

画面表示を変更する

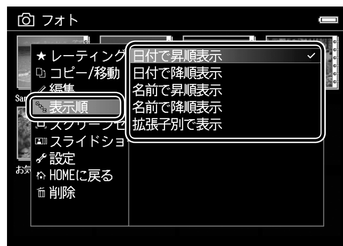
データの表示順を並べ替える

1 デ－タ一覧画面を表示します。

☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューから表示設定を選択します。

現在設定されている項目に、チェックが付いています。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［表示順］を選択

③【→】ボタンを押す

④【↑ ↓】ボタンで目的の項目を選択

⑤【OK】ボタンを押す

●表示順設定

日付で昇順表示	日付の古い順に表示されます。
日付で降順表示	日付の新しい順に表示されます。
名前で昇順表示	数字（小→大）、英字（A → Z）、ひらがな / カタカナ / 漢字（あ→ん）の順で表示されます。
名前で降順表示	ひらがな / カタカナ / 漢字(ん→あ)、英字(Z → A)、数字（大→小）の順で表示されます。

●グループ表示設定

拡張子別で表示	拡張子ごとにまとめて表示されます。

1 回の操作では、表示順設定とグループ表示設定の両方を設定できません。必要に応じて、2を繰り返します。

表示モードを切り替える

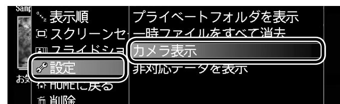
データ一覧画面は、表示モードを切り替えることができます。
フォルダ表示：フォルダ階層を構成して表示（購入時の設定）
カメラ表示　：フォルダ階層をなくして、ファイルをすべて表示

1 データ一覧画面または階層表示画面を表示します。

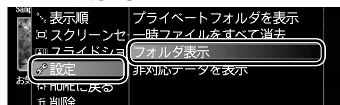
☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 ［フォルダ表示］または［カメラ表示］を選択します。

フォルダ表示時



カメラ表示時



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［設定］を選択

③【→】ボタンを押す

④【↑ ↓】ボタンで［フォルダ表示］または［カメラ表示］を選択

⑤【OK】ボタンを押す

データ一覧画面で設定すると、表示しているフォルダ内の表示が切り替わります。
階層表示画面で設定すると、選択中のフォルダ内の表示が切り替わります。［カメラ表示］にすると、画面右側のサブフォルダは非表示となり､【→】ボタンでのフォルダ選択はできなくなります。背景は、メニューから［壁紙, アイコン設定］－［この背景をリセットする］を選択すると、設定した表示モードでの表示に切り替わります。

参考

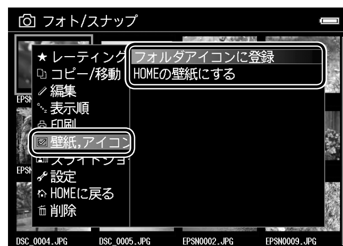
• 切り替えに時間がかかることがあります。

フォルダアイコンや壁紙を変更する

1 フォルダのアイコンまたは壁紙にしたい静止画を表示するか、データ一覧画面で選択します。

☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューから目的の項目を選択します。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［壁紙, アイコン設定］を選択

③【→】ボタンを押す

④【↑ ↓】ボタンで目的の項目を選択

⑤【OK】ボタンを押す

フォルダアイコンに登録	選択中の画像が、その画像が保存されているフォルダのサムネイルに設定されます。
HOME の壁紙にする	選択中の画像が、HOME 画面の壁紙に設定されます。

購入時の壁紙に戻すときは、HOME 画面のメニューから［HOME の壁紙をリセットする］を選択し【OK】ボタンを押します。

参考

- 動画はフォルダアイコンやHOME画面の壁紙に設定できません。
- ［フォト］、［ビデオ］にはフォルダアイコンを設定できません。
- フォルダアイコンを設定すると、階層表示画面（☞ 本書 35 ページ）の背景が変わります。
  - 未設定時：選択中のフォルダのデータがサムネイル小で表示されます。
  - 設定時：選択中のフォルダに設定された画像が表示されます。

フォルダアイコン未設定時



フォルダアイコン設定時



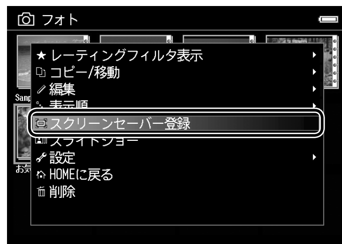
- フォルダアイコン未設定時の表示に戻すときは、メニューから［壁紙, アイコン設定］－［この背景をリセットする］の順で選択し【OK】ボタンを押します。

スクリーンセーバーの画像を変更する

スクリーンセーバーの画像を保存されている静止画のスライドショーに変更できます。

1 スクリーンセーバーにしたい静止画があるフォルダを選択します。

2 メニューから［スクリーンセーバー登録］を選択します。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［スクリーンセーバー登録］を選択

③【OK】ボタンを押す

スクリーンセーバーを購入時の画像に戻すときは、登録したフォルダを選択し、メニューから［スクリーンセーバー解除］を選択して【OK】ボタンを押します。

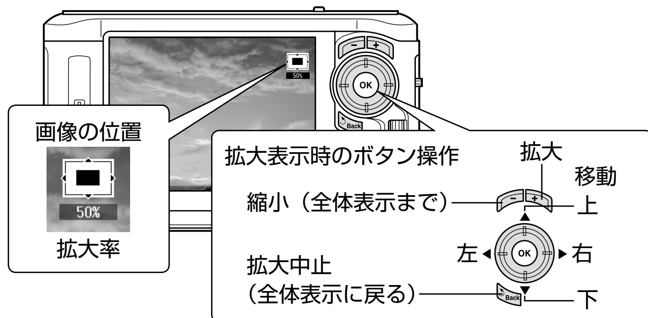
画像を編集する

拡大表示する

1 静止画を表示します。

☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 【Zoom +】ボタンを押し、拡大します。



参考

- 拡大率は、画素等倍サイズを 100%とした割合で表示されます。最大約 400%まで拡大できます。
- 通常、RAW データはスクリーンネイルを表示していますが、拡大表示時は、現像可能なカメラの RAW データの場合のみ、スクリーンネイル表示と現像画像表示から選択できます。（☞ 本書 85 ページ「RAW 拡大表示設定」）
- スクリーンネイル表示時は、スクリーンネイルが 640 × 480 画素以下の場合は拡大表示できません。
- 拡大表示中はホイールキーで、現在の表示と同じ拡大率・表示位置のまま、前 / 次の静止画を表示できます。

● 拡大モードで拡大する

拡大表示したい部分を指定して、画素等倍サイズに拡大します。

※ 画像サイズが 640 × 480 画素以下の場合は、拡大モードは使用できません。

1 静止画を表示します。

☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 拡大モードにします。

【OK】ボタンを押し、拡大枠を表示します。

3 拡大表示する部分を指定します。



4 指定部分が拡大されます。

【↑ ↓← →】ボタンで表示位置を移動できます。
縮小するときは、【Zoom −】ボタンを押します。
拡大モードを終了するときは、【Back】ボタンを押します。

参考

- 画像サイズによっては、うまく拡大表示できない場合があります。

回転表示する

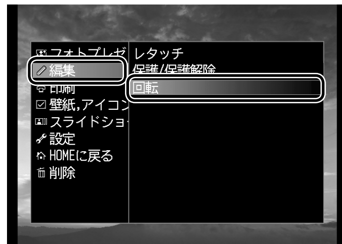
参考

- 本製品では、画面（ディスプレイ）上の画像表示を回転します。画像データそのものは回転していません。
- 保護された静止画データ（☞ 本書 54 ページ「大切なデータを保護する」）は回転できません。

1 回転したい静止画を表示します。

☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 回転モードにします。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［編集］を選択

③【→】ボタンを押す

④【↑ ↓】ボタンで［回転］を選択

⑤【OK】ボタンを押す

3 回転方向を選択し、回転させます。



①【↑ ↓】ボタンで回転方向を選択

②【OK】ボタンを押す

【OK】ボタンを押すごとに、画像が回転します。

続けて別の画像を回転できます。【← →】ボタンで別の画像を表示し、3 の操作を行います。

回転モードを終了するときは、［キャンセル］を選んで【OK】ボタンを押すか、【Back】ボタンを押します。

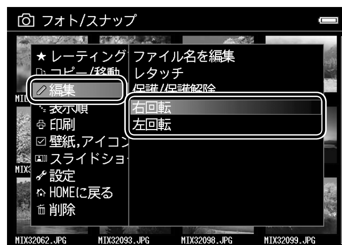
● 複数の画像を回転させる

複数の画像を一度の操作で回転させることもできます。

1 回転させたい静止画を含むデータ一覧画面を表示します。

☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューから回転方向を選択します。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［編集］を選択

③【→】ボタンを押す

④【↑ ↓】ボタンで回転方向を選択

⑤【OK】ボタンを押す

右回転	右に 90 度回転します。
左回転	左に 90 度回転します。

3 画像を選択し、回転させます。

本書 24 ページ「メモリカードのデータを選んで取り込む」5

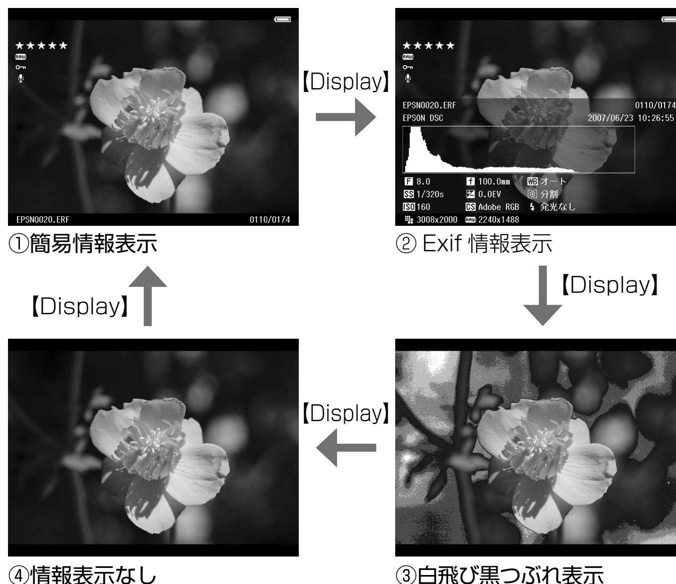
選択を決定すると、画像が回転します。

参考

- 保護された画像は選択できません。
- Exif 情報で回転が設定されている画像は、自動的に回転させて表示することができます。（本書 85 ページ「画像を自動回転」）

静止画の情報を表示する

静止画を表示して【Display】ボタンを押すと、画像情報（撮影データ）を表示できます。



①簡易情報表示

② Exif 情報表示

③白飛び黒つぶれ表示

④情報表示なし

● Exif 情報表示



①ファイル名　②ファイル番号 / フォルダ内の静止画総ファイル数
③モデル名＊1　④撮影日時＊1
⑤ヒストグラム
⑥F 値＊1　⑦焦点距離＊1　⑧ホワイトバランス＊1
⑨シャッタ速度＊1　⑩露出補正＊1　⑪測光モード＊1
⑫ ISO 値＊1　⑬色空間＊1　⑭フラッシュ＊1
⑮解像度＊1　⑯スクリーンネイルの解像度＊1＊2

＊ 1：Exif 情報
＊ 2：RAW データの場合、スクリーンネイルの解像度が表示されることがあります。

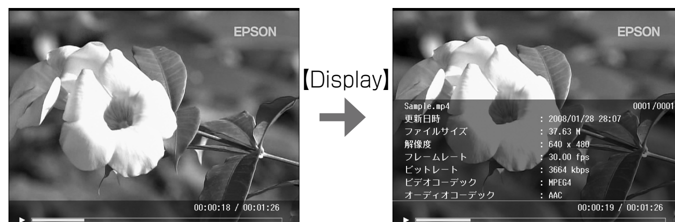
上記の他、RAW データのみファイルタイプも表示されます。

参考

- Exif 情報は、お使いのデジタルカメラによって表示される項目が異なります。また、表示している画像フォーマットによっても表示される項目は異なります。

動画の情報を表示する

再生開始後は約 3 秒間、画面下部に動画の簡易情報が表示されます。表示が消えているときに再度表示させたいときは【Display】ボタンを押します。



①簡易情報表示　②詳細情報表示

【Display】　【Display】



③情報表示なし

● 詳細情報表示



①ファイル名
②ファイル番号 / フォルダ内の総動画ファイル数
③更新日時
④ファイルサイズ
⑤解像度
⑥フレームレート
⑦ビットレート
⑧ビデオコーデック
⑨オーディオコーデック
⑩現在の再生時間 / 残り時間
⑪再生状態表示アイコン
▶ 再生中　　❙❙ 一時停止
▶▶ スキップ中（早送り）　◀◀ スキップ中（巻き戻し）
スキップ中に表示される数字は、再生速度を示しています。
⑫プログレスバー
（全体に対しどのくらい再生されたかを示しています。）

動画再生時の設定を変更する

動画再生中、一時停止中のメニューで、次の設定ができます。

再生設定	[最初から再生]： 再生を中断して、最初から再生します。 [オリジナルサイズで再生]： 原寸の画像サイズで再生します。画面サイズ（640 × 480）より大きい画像サイズの場合は、はみだした部分は表示されません。 [フルスクリーンで再生]： 画像全体が表示されるように、画像サイズを拡大 / 縮小して再生します。画像サイズによっては、画面の周囲に黒い帯が入ります。
このシーンをアイコンに設定	表示中のコマを切り出して、その動画データのサムネイルに設定します。
動画再生モード	[ホームビデオ]：明るめに再生します。 [映画]： 元の映像の雰囲気を残し、控えめに補正をします。 [自然風景]： 液晶ディスプレイの特長を生かす鮮やかな再生をします。 [省電力]： 画面が暗くならないように補正しながら、バックライトの明るさを落として消費電力を抑えます。 [オリジナル]：補正をしません。
設定	画面の明るさ調整、ガイド音のオン / オフ、操作音のオン / オフの切り替えをします。（☞ 本書 87 ページ「画面の明るさ」、86 ページ「音設定」）
HOME に戻る	HOME 画面に戻ります。

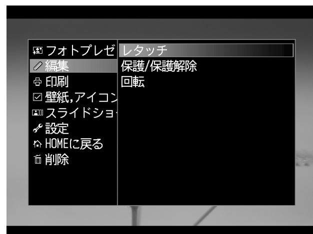
画像編集（レタッチ）と RAW 現像の操作の流れ

＊：RAW 現像時のみ選択可能

＜レタッチの場合＞

メニュー画面

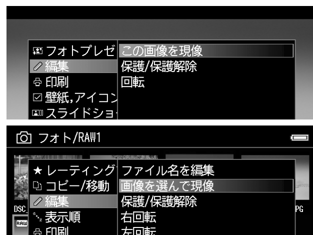
［レタッチ］を選択



＜RAW現像の場合＞

メニュー画面

［この画像を現像］/［画像を選んで現像］を選択



●［この画像を現像］
●［画像を選んで現像］

現像する画像を選択します

レタッチ/RAW 現像 設定画面

どのように画像処理をしますか？
●自動補正をする→［標準］/［人物］/［風景］/［夜景］/［忠実］*/［モノクロ］
●自分で調整→［マニュアル設定］



［標準］［人物］
［風景］［夜景］
［忠実］［モノクロ］

［マニュアル設定］

レタッチ/RAW 現像 プレビュー画面

この画像で OK ですか？
●OK →［保存］
●調整する→［追加調整］/［追加設定］

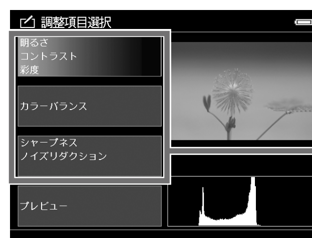


［保存］ → **保存**

［追加調整］/［追加設定］

調整 / 設定 項目選択画面

調整する項目を選択し、各画面で調整します
調整 / 設定できたら→［プレビュー］



- 明るさ
- コントラスト
- 彩度
- カラーバランス
- シャープネス
- ノイズリダクション
- モノクロフィルタ
- ホワイトバランス*
- 露出*

【OK】

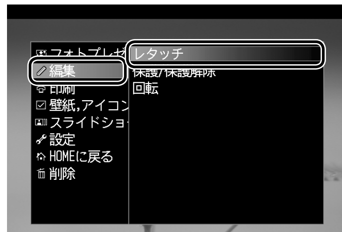
JPEG 画像を編集（レタッチ）する

パソコンを使わなくても、本製品で JPEG 画像をレタッチできます。レタッチの方法は、本製品に任せて処理をする自動補正と各設定を自分で行う手動調整があります。自動補正後に、さらに手動調整をすることもできます。

1 レタッチしたい JPEG 画像を表示するか、データ一覧画面で選択します。

本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューから［レタッチ］を選択します。



①【Menu】ボタンを押す

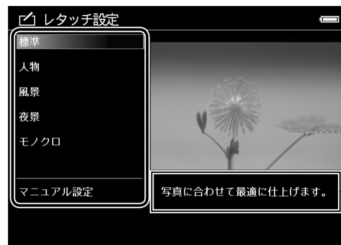
②【↑ ↓】ボタンで［編集］を選択

③【→】ボタンを押す

④【↑ ↓】ボタンで［レタッチ］を選択

⑤【OK】ボタンを押す

3 レタッチ方法を選択します。



①【↑ ↓】ボタンでレタッチ方法を選択

②【OK】ボタンを押す

ここに選択項目の説明が表示されます。

標準	本製品がシーンを判別して最適な補正をします。
人物	人物画像に最適な補正をします。
風景	風景画像に最適な補正をします。
夜景	夜景画像に最適な補正をします。
モノクロ	モノクロ画像に変更します。
マニュアル設定	自動補正をしないで、手動で調整をします。

●自動補正をする場合
［標準］［人物］［風景］［夜景］［モノクロ］から選択（ 5 へ）

●自分でレタッチをする場合
［マニュアル設定］を選択（ 4 へ）

4 画像を調整し、画像処理を実行します。

カラー画像の場合



調整項目　ヒストグラム

モノクロ画像の場合



①【↑ ↓】ボタンで調整項目を選択し、【OK】ボタンを押す

②調整画面で調整する

③調整できたら、［OK］を選択し、上の画面に戻る

④必要に応じて①～③を繰り返し、調整する

⑤調整し終わったら、【↑ ↓】ボタンで［プレビュー］を選択し、【OK】ボタンを押す

各調整画面での操作の仕方は、本書 50 ページ「調整 / 設定画面」を参照してください。

5 プレビュー画像を確認します。

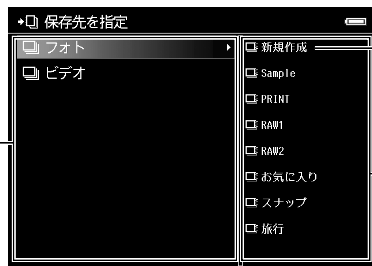


①【↑ ↓】ボタンで［OK］を選択

②【OK】ボタンを押す

さらに画像調整を行う場合は、［追加調整］を選択して 4 へ戻ります。

6 保存先を選択し、保存します。



①【← →】ボタンで目的の階層を表示

②【↑ ↓】ボタンで目的のフォルダを選択

③【OK】ボタンで保存

④保存完了画面が表示されたら【OK】ボタンを押す

［新規作成］を選択した場合は、文字入力画面が表示されます。フォルダ名を入力します。（☞ 本書 59 ページ「ソフトキーボードを使った入力の仕方」）

「元のファイル名 _E 連番」名で新規保存されます。

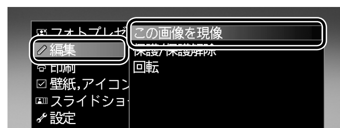
RAW データを現像する

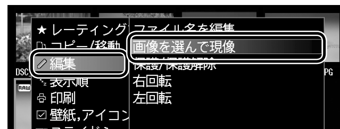
RAW データを JPEG 形式に変換することを「現像」と呼びます。本製品でホワイトバランスや明るさの設定をして現像することができます。JPEG 画像のレタッチと同様、画像は自動補正と手動調整ができ、自動補正後の手動調整も可能です。

1 現像したい RAW 画像を表示するか、データ一覧画面で選択します。

☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューから［この画像を現像］/［画像を選んで現像］を選択します。





①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［編集］を選択

③【→】ボタンを押す

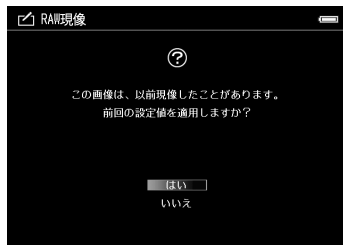
④【↑ ↓】ボタンで［この画像を現像］/［画像を選んで現像］を選択

⑤【OK】ボタンを押す

- 1 で RAW 画像を表示していた場合
  ［この画像を現像］を選択（ 5 へ）
- 1 でデータ一覧画面を表示していた場合
  ［画像を選んで現像］を選択（ 3 へ）

参考

- 複数の画像をまとめて現像する場合は、すべての画像に同じ設定値が適用されます。プレビューには、表示順が一番早い画像が表示されます。
- 以前現像したことがある RAW 画像を 1 つだけ現像する場合は、次の画面が表示され、前回の設定値を適用することができます。



①【↑ ↓】ボタンで選択

②【OK】ボタンを押す

- 適用する場合は、［はい］を選択します。前回の設定値で処理され、6 へ進みます。
- 適用しない場合は、［いいえ］を選択し 5 へ進みます。

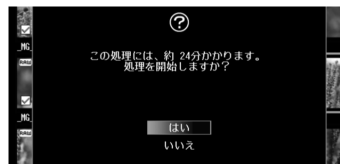
3 現像する画像を選択します。

☞ 本書 24 ページ「メモリカードのデータを選んで取り込む」5



RAW データのみ、チェックボックスが表示されます。

4 処理時間を確認します。



①【↑ ↓】ボタンで選択

②【OK】ボタンを押す

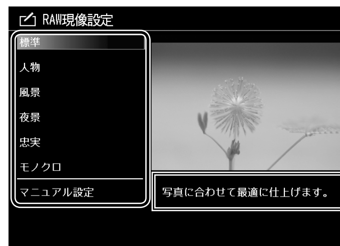
※ あらかじめ処理時間を知りたいときなど、この画面まで進むと処理時間を調べることができます。

※ この画面、および処理中に画面に表示される時間は目安です。画像の解像度や処理方法によって異なります。

●選択した画像を現像する場合
［はい］を選択（ 5 へ）

●画像を選択し直す場合
［いいえ］を選択（ 3 へ）

5 処理方法を選択します。



①【↑ ↓】ボタンで処理方法を選択

②【OK】ボタンを押す

ここに選択項目の説明が表示されます。

標準	本製品がシーンを判別して最適な補正をします。
人物	人物画像に最適な補正をします。
風景	風景画像に最適な補正をします。
夜景	夜景画像に最適な補正をします。
忠実	画像の色を忠実に再現します。
モノクロ	モノクロ画像に変更します。
マニュアル設定	自動補正をしないで、手動で補正値の設定を変更します。

●自動補正をする場合
[標準] [人物] [風景] [夜景] [忠実] [モノクロ] から選択（7 へ）

●自分で補正値の設定をする場合
[マニュアル設定] を選択（ 6 へ）

参考
・画像に使用可能なシーン情報が埋め込まれている場合は、そのシーンが設定されます。

6 補正値を設定し、画像処理を実行します。

本書 47 ページ「JPEG 画像を編集（レタッチ）する」4

カラー画像の場合



モノクロ画像の場合



各設定画面での操作の仕方は、本書 50 ページ「調整 / 設定画面」を参照してください。

7 プレビュー画像を確認します。

本書 48 ページ「JPEG 画像を編集（レタッチ）する」5

さらに現像設定を変更する場合は、[追加設定] を選択して 6 へ戻ります。

8 保存先を選択し、保存します。

本書 48 ページ「JPEG 画像を編集（レタッチ）する」6

「元のファイル名 _E 連番」名で新規保存されます。

参考
・お使いのデジタルカメラの種類によっては、現像できない場合があります。対応機種については、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）をご覧ください。
・現像には時間がかかることがあります。

● 調整 / 設定画面

JPEG 画像のレタッチの調整画面と RAW 現像の設定画面は、操作の仕方は同じです。調整 / 設定できる項目は、画像の種類によって異なります。



<スライダでの調整>

①【↑ ↓】ボタンで調整項目を選択
②【← →】ボタンでスライダを移動し、設定値を選択

<メニューの選択>

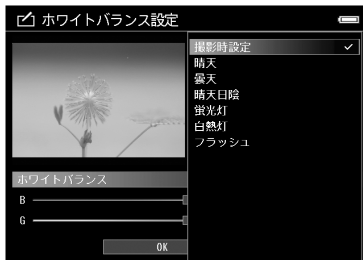
①【↑ ↓】ボタンでメニューを選択
②【OK】ボタンを押し、メニューを表示
③【↑ ↓】ボタンで項目を選択
④【OK】ボタンを押す

調整 / 設定ができたら、【↑ ↓】ボタンで [OK] を選択し【OK】ボタンを押して、レタッチ /RAW 現像設定画面に戻ります。

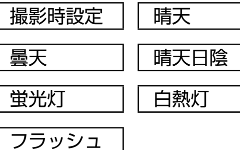
参考

- 調整前の設定値に戻したいときは、[初期値に戻す] を選択し【OK】ボタンを押します。
- すべての設定を取り消してレタッチ設定画面（本書 47 ページ）/ RAW 現像設定画面（本書 49 ページ）に戻りたいときは、【Back】ボタンを押します。
- 【Display】ボタンを押すと、設定を決定してプレビュー画面に進みます。

● ホワイトバランス



プリセット設定



微調整（色温度）
B(低い) ← → A(高い)

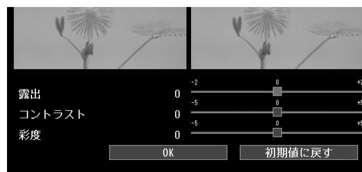
微調整（色合い）
G(グリーン) ← → M(マゼンタ)

※ JPEG 画像の調整時は、[ホワイトバランス] は表示されません。

※ プリセット設定は、自動画像処理をした画像には設定できません。

● 明るさ / コントラスト / 彩度 / 露出





明るさ / 露出
暗い ← → 明るい

コントラスト
低い ← → 高い

彩度
低い ← → 高い

※ JPEG 画像の調整時は、[露出] は表示されません。

※ RAW 画像の調整時は、[明るさ] は表示されません。

※ モノクロ画像の調整時は、[彩度] は表示されません。

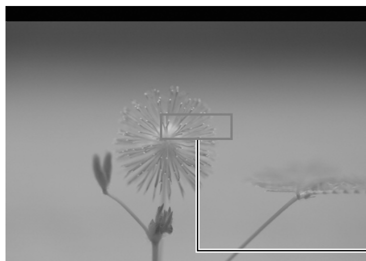
● カラーバランス



シアン	← →	レッド
マゼンタ	← →	グリーン
イエロー	← →	ブルー

※ モノクロ画像の調整時は、[カラーバランス] は表示されません。

● シャープネス / ノイズリダクション

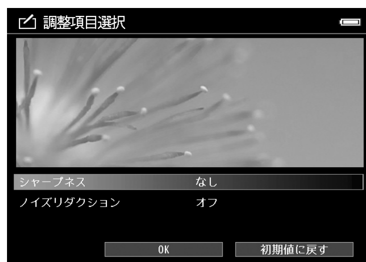


設定効果を確認できるよう、確認プレビューは拡大表示されます。

まず、拡大表示する部分を指定します。

①【↑ ↓← →】ボタンでプレビュー枠を移動

②【OK】ボタンを押し、決定



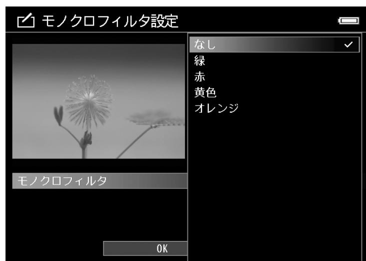
シャープネス

なし	弱	強

ノイズリダクション

オン	オフ

● モノクロフィルタ



フィルタ色を選択します。

なし	緑	赤	黄色	オレンジ

※ カラー画像の調整時は、[モノクロフィルタ] は表示されません。

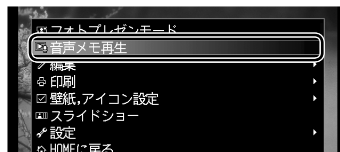
音声メモを再生する

デジタルカメラで録音された、静止画の音声メモを再生できます。音声メモが添付されている静止画は、データ一覧画面（サムネイル大表示）（ 本書 37 ページ）や情報表示画面（ 本書 43 ページ）で アイコンが表示されます。
再生できる音声メモのデータ形式は WAV です。一部の音声メモには対応していない場合があります。

1 音声メモが添付されている静止画を表示します。

本書 35 ページ「画像を表示する」

2 音声メモを再生します。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［音声メモ再生］を選択

③【OK】ボタンを押す

音声メモは繰り返し再生されます。



【Zoom】ボタンで音量を調整できます。
【Zoom +】ボタン：大
【Zoom −】ボタン：小

【OK】ボタンを押すと、再生を一時停止 / 再開します。
再生を停止するときは、【Back】ボタンを押します。

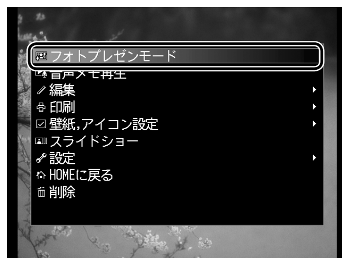
フォトプレゼンモードで表示する

フォトプレゼンモードとは、逆光補正や色補正などの画像処理を加え、もっとも液晶に適した色へ画像を最適化して表示するモードです。例えば、人物の顔や撮影シーンを判別し、色の再現性を高めたり、失敗写真は補正して、その画像データで表現できる一番きれいな画像を提示（プレゼン）します。

1 静止画を表示します。

本書 35 ページ「画像を表示する」

2 フォトプレゼンモードで表示します。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［フォトプレゼンモード］を選択

③【OK】ボタンを押す

フォトプレゼンモード中は、【↑ ←】ボタンで前の静止画を、【↓ →】ボタンで次の静止画を表示できます。

フォトプレゼンモードを終了するときは、【Back】ボタンを押します。

スライドショーを見る

1 スライドショーをしたいフォルダの静止画を表示するか、データ一覧画面でフォルダを選択します。

本書 35 ページ「画像を表示する」

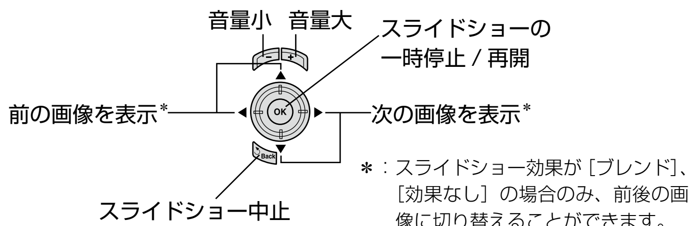
2 スライドショーを開始します。

①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［スライドショー］を選択

③【OK】ボタンを押す

● スライドショー中のボタン操作

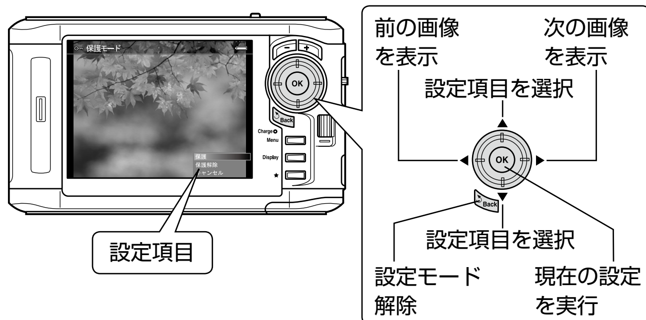


参考

- スライドショー表示中のメニューまたは［セットアップ］画面で、画面の切り替え間隔や切り替え時の効果、BGM を設定できます。
- 時計の表示 / 非表示を設定できます。（本書 86 ページ「時計を表示」）
- スライドショーはフォルダ単位で行われます。
- 動画やサブフォルダ内の画像データは表示されません。

保護 / 削除 / コピー / 移動する

保護 / 削除 / 回転は、データを選択してまとめて設定する方法とそれぞれの設定モードに入り、データ 1 つずつに設定する方法があります。設定モード中にできるボタン操作は、以下の通りです。



大切なデータを保護する

!重要

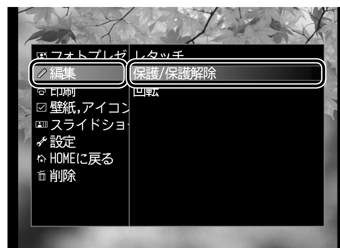
- 保護設定したデータは、本製品での操作では削除できなくなります。ただし本製品をパソコンに接続し、パソコンから操作すると削除できます。また、保護設定したデータでも本製品が故障した場合は壊れる可能性があります。大切なデータは、必ず本製品以外の媒体にもバックアップしてください。

1 保護するデータを表示します。

または、階層表示画面で保護したいフォルダを選択します。

本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューから［保護 / 保護解除］を選択します。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［編集］を選択

③【→】ボタンを押す

④【↑ ↓】ボタンで［保護 / 保護解除］を選択

⑤【OK】ボタンを押す

- 1 で画像を表示していた場合（ 3-1 へ）
- 1 でデーター覧画面を表示していた場合（ 3-2 へ）
- 1 で階層表示画面を表示していた場合
  保護が設定されます。
  保護が設定されていたフォルダは、保護は解除されます。

3-1 保護モードで 1 つずつ保護を設定します。



①【← →】ボタンで画像を選択

②【↑ ↓】ボタンで［保護］を選択

③【OK】ボタンを押す

保護を解除するときは、ここで［保護解除］を選択し、【OK】ボタンを押します。
保護モードを終了するときは、［キャンセル］を選んで【OK】ボタンを押すか、【Back】ボタンを押します。

3-2 データを選択し、まとめて設定します。

本書 24 ページ「メモリカードのデータを選んで取り込む」5

選択を決定すると、保護が設定されます。
保護を解除するときは、ここでデータ選択のチェックを外します。

参考

- ［ミュージック］の音楽データは保護できません。
- 保護設定は電源をオフにしても保持されます。
- 保護を設定したデータは以下の動作ができなくなります。
  フォルダ：フォルダの削除、フォルダ名の変更
  データ　：削除、回転、ファイル名の変更

見られたくない画像を非表示にする（プライベート機能）

見られたくない画像を非表示にできます。画像を含むフォルダにパスワードを設定し、表示 / 非表示をパスワードで管理します。

参考

- プライベート機能はフォルダに設定できます。個々の画像には設定できません。
- プライベート設定をすると同時に保護も設定されます。これは、プライベートフォルダ非表示中に誤ってデータを削除しないためです。保護は、プライベート設定を解除しても保護を解除しない限り継続されます。
- プライベートフォルダを CD-R/DVD-R にコピーすると、隠し属性としてコピーされます。
  CD/DVD ドライブを本製品に接続して内容を表示し、［プライベートフォルダを表示］にすると表示されます。また、パソコンに CD-R/DVD-R をセットすると隠し属性のフォルダとして見えることがあります。

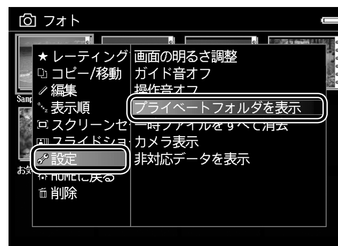
● プライベートフォルダを表示 / 非表示にする

プライベート機能は、［プライベートフォルダを表示］のとき設定 / 解除できます。設定前に［プライベートフォルダを表示］にします。

1 データ一覧画面または階層表示画面を表示します。

本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューから［プライベートフォルダを表示］を選択します。



①【Menu】ボタンを押す
②【↑ ↓】ボタンで［設定］を選択
③【→】ボタンを押す
④【↑ ↓】ボタンで［プライベートフォルダを表示］を選択
⑤【OK】ボタンを押す

非表示にするときは、ここで［プライベートフォルダを非表示］を選択します。

3 パスワードを入力し、機能を設定します。



①【← →】ボタンで桁を移動
②【↑ ↓】ボタンで数字を入力
③4 桁の数字を設定
④【OK】ボタンを押す

※ 購入時のパスワードは、「0000」です。

参考

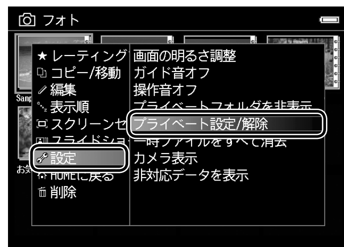
- パスワードは、[セットアップ] 画面で任意の 4 桁の数字に変更できます。(☞ 本書 84 ページ「パスワード設定」)
- パスワードを忘れてしまったときは、初期化すると購入時の設定(「0000」)に戻すことができます。(☞ 本書 78 ページ「パスワードを忘れてしまった」)

● フォルダにプライベート機能を設定する

1 プライベート機能を設定するフォルダを表示します。

☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューから [プライベート設定 / 解除] を選択します。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで [設定] を選択

③【→】ボタンを押す

④【↑ ↓】ボタンで [プライベート設定 / 解除] を選択

⑤【OK】ボタンを押す

3 フォルダを選択します。

☞ 本書 24 ページ「メモリカードのデータを選んで取り込む」5

解除するときは、ここでフォルダ選択のチェックを外します。

4 パスワードを入力し、フォルダを表示します。

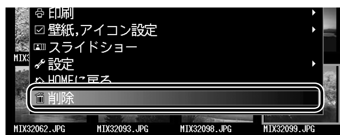
☞ 本書 55 ページ「プライベートフォルダを表示 / 非表示にする」3

不要なデータを削除する

1 削除するデータを表示します。

または、階層表示画面で削除したいフォルダを選択します。
☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューから [削除] を選択します。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで [削除] を選択

③【OK】ボタンを押す

● 1 で画像を表示していた場合(3-1 へ)

● 1 でデーター覧画面を表示していた場合(3-2 へ)

● 1 で階層表示画面を表示していた場合
確認画面が表示されます。[はい] を選択し【OK】ボタンを押して、削除します。

3-1 削除モードで 1 つずつ削除します。



①【← →】ボタンで画像を選択

②【↑ ↓】ボタンで [削除] を選択

③【OK】ボタンを押す

削除モードを終了するときは、[キャンセル] を選んで【OK】ボタンを押すか、【Back】ボタンを押します。

3-2 データを選択し、まとめて削除します。

☞ 本書 24 ページ「メモリカードのデータを選んで取り込む」5

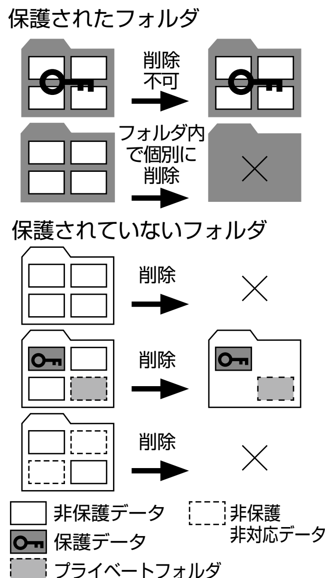
選択を決定すると、確認画面が表示されます。[はい] を選択して、【OK】ボタンを押します。

削除開始後に削除を中止したいときは、【Back】ボタンを押し、確認画面で [はい] を選択します。ただし、【Back】ボタンを押すまでに削除されたデータは元に戻せません。

※ [ミュージック] の音楽データの削除については、本書 69 ページ「削除」を参照してください。

参考

- 保護されたフォルダは、削除時に選択できません。ただし、フォルダが保護されていてもフォルダ内の保護されていないデータは個別に選んで削除できます。
- フォルダ内に保護されたデータやプライベートフォルダがあるときは、フォルダは削除されず、その中に保護されたデータやプライベートフォルダが残ります。
- フォルダ内に非対応データを含んでいるときは、非表示中でも、そのデータが保護されていないと削除されます。非対応データの非表示中に削除を実行するときは、ご注意ください。



データをコピー / 移動する

データを別のフォルダにコピー / 移動できます。

参考

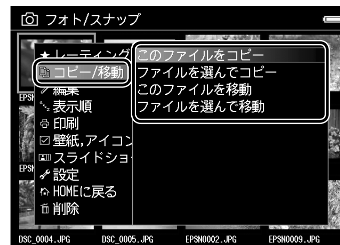
- [バックアップデータ] からは、[フォト]、[ビデオ] へのコピーはできますが、移動はできません。
  [バックアップデータ] と [ミュージック] へは、コピー / 移動できません。[ミュージック] 内のデータのコピー / 移動もできません。

1 コピー / 移動したいデータを、データ一覧画面または階層表示画面で選択します。

階層表示画面では、[ファイルを選んでコピー / 移動] はできません。

☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューから目的の項目を選択します。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで [コピー / 移動] を選択

③【→】ボタンを押す

④【↑ ↓】ボタンで目的の項目を選択

⑤【OK】ボタンを押す

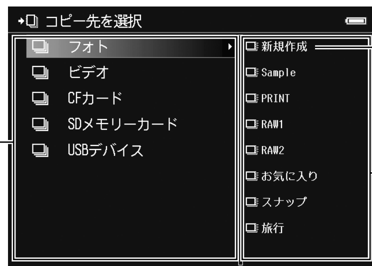
●選択しているデータのみをコピー / 移動する場合
[このファイルをコピー / 移動] を選択（ 4 へ）

●データを選んでコピー / 移動する場合
[ファイルを選んでコピー / 移動] を選択（ 3 へ）

3 データを選択します。

☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

4 移動先を選択し、コピー / 移動します。



①【← →】ボタンで目的の階層を表示

②【↑ ↓】ボタンで目的のフォルダを選択

③【OK】ボタンでコピー / 移動

［新規作成］を選択した場合は、文字入力画面が表示されます。フォルダ名を入力します。（☞ 本書 59 ページ「ソフトキーボードを使った入力の仕方」）

● ファイル / フォルダ名を変更する

［フォト］、［ビデオ］内のファイル名やフォルダ名を、お好みの名前に変更できます。

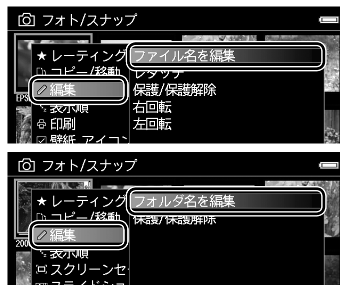
参考

- フォルダ名をかな漢字名（2 バイト文字）に変更後、言語設定（☞ 本書 87 ページ）を変更すると、フォルダとそのフォルダ内のファイルを参照できなくなることがあります。

1 名前を変更したいファイルまたはフォルダを選択します。

☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューから［ファイル / フォルダ名を編集］を選択します。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［編集］を選択

③【→】ボタンを押す

④【↑ ↓】ボタンで［ファイル / フォルダ名を編集］を選択

⑤【OK】ボタンを押す

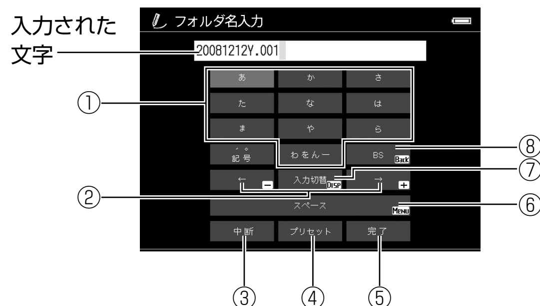
3 ファイル / フォルダ名を入力します。

☞ 本書 59 ページ「ソフトキーボードを使った入力の仕方」

ソフトキーボードを使った入力の仕方

再生リストのタイトルやファイル / フォルダ名の入力は、ソフトキーボードで行います。

● キー操作



	キー	説明	ショートカットキー
①	文字キー	キーの文字を入力	—
②	カーソルキー	矢印の方向へカーソルを移動	←【Zoom −】 →【Zoom +】
③	中断キー	入力を中断して前の画面に戻る	—
④	プリセットキー	定型テキストを入力	—
⑤	完了キー	入力を完了して次の画面へ進む	—
⑥	変換 / スペースキー	文字変換（かな漢字入力時）、スペース挿入	【Menu】
⑦	入力切替キー	入力画面を切り替える	【Display】
⑧	BS（バックスペース）キー	文字上にカーソルがあるときはその文字を、ないときはカーソルの前の文字を削除	【Back】

● 入力画面を切り替える

ソフトキーボードには、かな漢字入力、英数文字入力、数字入力の3つの入力画面があります。
【Display】ボタンを押すと、英数文字入力→数字入力→かな漢字入力→英数文字入力…と切り替わります。

● かな漢字を入力する

文字キーには、キーに表示されている文字行の文字が割り当てられています。例えば、［あ］キーにはあ行の文字「あいうえお」が割り当てられています。

① 【↑ ↓ ← →】ボタンで入力したい文字行のキーを選択します。
② 目的の文字が表示されるまで、【OK】ボタンを押します。
③ 次の文字を入力します。
続けて同じキーに割り当てられている文字を入力する場合は、【Zoom +】ボタンを押してカーソルを送ります。
間違えて入力した場合は、【Back】ボタンを押して取り消します。
④ 変換するときは、【Menu】ボタンを押します。変換画面が表示されます。
【↑ ↓】ボタンで文字候補を選択して【OK】ボタンを押します。

例：「会う」を入力する



※【← →】ボタンで変換する文字数を変更できます。目的の文字候補がないときは、変換する文字数を変更してみてください。
※ 文字列を修正したいときは、【Back】ボタンを押します。未変換文字は未変換のまま入力画面に戻ります。

⑤ すべての文字が変換されると、キーボード画面に戻り、変換後の文字が入力されます。
※ 未変換の文字がある状態で入力画面を切り替えると、未変換の文字はひらがなで入力されます。

● 英数字 / 数字を入力する

英数文字キーには、キーに表示されている文字の大文字と小文字と数字が割り当てられています。例えば、［ABC2］キーには、「ABCabc2」が割り当てられています。
数字キーは、キーに表示されている数字が割り当てられています。
［スペース］キーは、スペースを入力するときに選択します。
入力の仕方はかな漢字と同じです。ただし、文字変換はありません。

英数文字入力画面



数字入力画面



● ［記号］［プリセット］キーについて

［記号］キー、［プリセット］キーにはそれぞれ以下の文字が割り当てられています。

かな漢字入力時の［記号］	、。ー「」（）［］【】：／．！？
英数文字 / 数字入力時の［記号］	@%$&#=-+_)(^!;, .
［プリセット］	お気に入り　家族　旅行　風景 子供　アルバム　友人　クリスマス スナップ　ビジネス　スポーツ イベント　ハロウィン　撮影会　海　山

● 文字を削除する

【Back】ボタンを押して文字を削除します。文字上にカーソルがあるときはその文字を、ないときはカーソルの前の文字を、1 回押すごとに 1 文字ずつ削除します。
文字列の途中の文字を削除したいときは、【Zoom －＋】ボタンを押して削除したい文字にカーソルを合わせてから、【Back】ボタンを押します。
※ 文字が入力されていない状態で【Back】ボタンを押すと、文字入力を中止するかどうかの確認画面が表示されます。

● 文字を挿入する

文字列の途中に文字を挿入したいときは、【Zoom －＋】ボタンを押して挿入位置までカーソルを移動します。カーソルの位置から、文字を挿入できます。

● 入力を決定する

入力が終了したら、［完了］キーを選択して【OK】ボタンを押します。

参考

- 文字の入力を中止して、文字入力画面の前の画面に戻りたいときは、［中断］キーを選択して【OK】ボタンを押します。

印刷する

参考

・印刷ナビゲーション機能を使うと、トリミングをしたり枠やサインを入れて印刷できます。（☞ 別冊『印刷ナビゲーションガイド』）

使用できるプリンタ

PictBridge 対応プリンタ

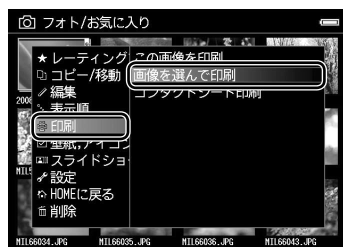
選んで印刷する

画像ごとに印刷枚数を指定して印刷します。

1 印刷したい静止画を表示するか、データ一覧画面で選択します。

☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューから［画像を選んで印刷］を選択します。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［印刷］を選択

③【→】ボタンを押す

④【↑ ↓】ボタンで［画像を選んで印刷］を選択

⑤【OK】ボタンを押す

● 1 でデータ一覧画面を表示していた場合（ 3 へ）

● 1 で静止画を表示していた場合（ 4 へ）

参考

・印刷を中断したデータがある場合、そのデータを印刷するかどうかの確認メッセージが表示されます。（☞ 本書 63 ページ 参考）

3 印刷する画像と枚数を指定します。



①【↑ ↓ ← →】ボタンで画像を選択

②【Zoom ＋－】ボタンで枚数を指定

③指定し終わったら、【OK】ボタンを押す

（ 5 へ）

4 印刷する画像と枚数を指定します。



①【← →】ボタンで画像を選択

②【Zoom ＋－】ボタンまたは【↑ ↓】ボタンで枚数を指定

③指定し終わったら、【OK】ボタンを押す

参考

・指定できる枚数は 1 画像につき 10 枚、総枚数 100 枚までです。

・3 では、メニューで［全画像の印刷枚数を 1 に設定］、［全画像の印刷枚数を 0 に設定］を設定できます。

5 レイアウトを指定します。



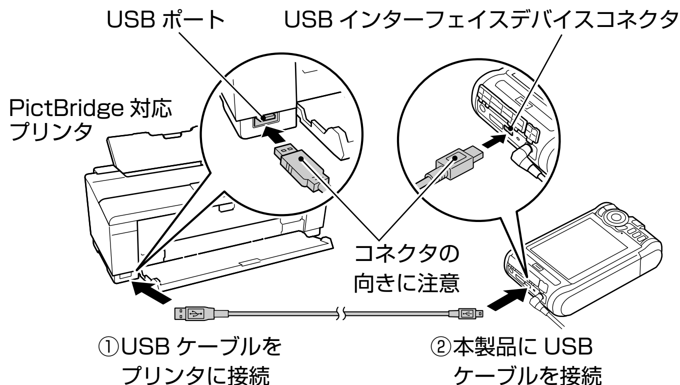
①【↑ ↓← →】ボタンでレイアウトを選択

②【OK】ボタンを押す

印刷ナビゲーション機能で印刷レイアウトをテンプレートに登録すると、そのレイアウトを指定できるようになります。（☞ 別冊『印刷ナビゲーションガイド』18 ページ「ステップ４　印刷レイアウトを設定する」）

6 AC アダプタを接続し、プリンタに接続します。

☞ 本書 12 ページ「AC アダプタを接続して充電する」



!重要

- プリンタ接続時は､必ず AC アダプタを接続して使用してください。
- USB インターフェイスホストコネクタに触ったり、他のケーブル等を差し込んだりしないでください。
- パソコンやプリンタと接続するとき以外は、本製品から USB ケーブルを取り外してお使いください。

参考

- プリンタ側の接続方法については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

7 印刷設定をして、印刷します。



①【↑ ↓】ボタンで項目を選択

②【OK】ボタンを押す

③【↑ ↓】ボタンで目的の選択肢を選択

④設定し終わったら､【↑ ↓】ボタンで［印刷開始］を選択

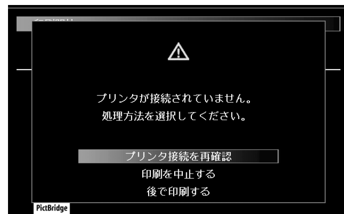
⑤【OK】ボタンを押し、印刷開始

印刷設定について詳しくは、本書 65 ページ「印刷設定について」を参照してください。

設定途中や印刷開始後に印刷を中止したいときは【Back】ボタンを押します。表示される画面に従って操作してください。（印刷を中止しても、すでにプリンタに転送された画像データは印刷されます。）

参考

- 本製品がプリンタを認識できなかった場合、次の画面が表示されます。目的の項目を選択し、【OK】ボタンを押してください。

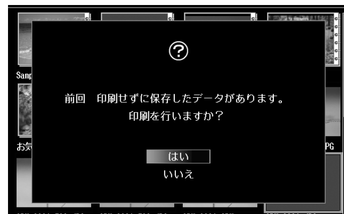


プリンタ接続を再確認

プリンタを再度検索します。接続を確認してから、選択してください。

印刷を中止する

印刷を中止します。



後で印刷する

指定した印刷内容を本製品に保存して、印刷を中止します。次回、メニューから印刷の仕方を選択すると、左の印刷確認メッセージが表示されます。印刷を中断したデータが保存されている場合は、今回のデータが上書きされます。

- 印刷確認メッセージが表示されたときは、以下の操作をします。
  - 保存したデータを印刷する場合は、[はい］を選択します。印刷確認メッセージが表示される前に行った操作はキャンセルされます。
  - 印刷しない場合は、[いいえ］を選択します。印刷確認メッセージが表示される前に行った操作の続きの画面が表示されます。
- 本製品から印刷を行った場合、パソコンから印刷を行った場合と印刷結果（色合い）が異なることがあります。
- 登録した印刷レイアウトを適用すると、以下のようになります。
  - 用紙サイズ、画像位置、回転、背景色、フレーム色 / 幅、サインが適用されます。
  - 印刷レイアウト登録時の画像と印刷する画像のアスペクト比が異なる場合は、アスペクト比を維持して、縦または横の長い方の辺が最大で入るサイズに縮小 / 拡大されます。

● プリンタから本製品を取り外すときは

印刷が終了していることを確認してから、取り外してください。（本製品、プリンタとも電源オンのまま取り外せます。）

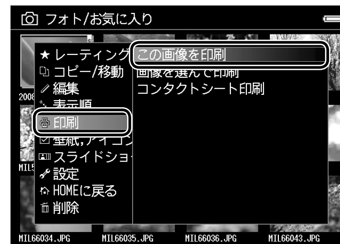
この画像を印刷する

表示中または選択中の画像のみを 1 枚ずつ印刷します。

1 印刷したい静止画を表示するか、データ一覧画面で選択します。

☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューから［この画像を印刷］を選択します。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［印刷］を選択

③【→】ボタンを押す

④【↑ ↓】ボタンで［この画像を印刷］を選択

⑤【OK】ボタンを押す

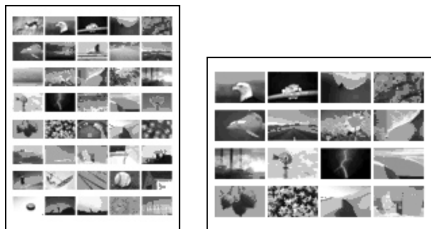
参考

- 印刷を中断したデータがある場合、そのデータを印刷するかどうかの確認メッセージが表示されます。（☞ 本書 63 ページ 参考）

以降の操作は、本書 62 ページ「選んで印刷する」5 以降と同じです。

コンタクトシートを印刷する

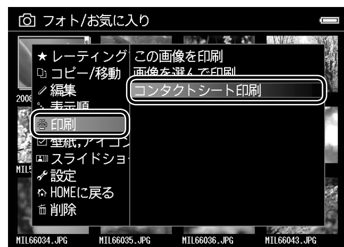
1 枚の用紙に、40 個または 16 個の画像を割り付けて印刷します。



1 印刷したい静止画が入っているフォルダのデータ一覧画面を表示します。

本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューから [コンタクトシート印刷] を選択します。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［印刷］を選択

③【→】ボタンを押す

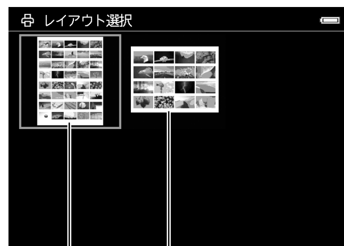
④【↑ ↓】ボタンで［コンタクトシート印刷］を選択

⑤【OK】ボタンを押す

参考

- 印刷を中断したデータがある場合、そのデータを印刷するかどうかの確認メッセージが表示されます。（本書 63 ページ 参考）

3 レイアウトを選択します。



①【← →】ボタンで目的のレイアウトサンプルを選択

②【OK】ボタンを押す

※ レイアウトによって、印刷できる用紙サイズが決まっています。
40 面付け：A4、Letter、A3
16 面付け：L 判、4 × 6
用紙サイズは、印刷設定（本書 62 ページ、65 ページ）で選択します。

4 印刷する画像を指定します。



①【↑ ↓ ← →】ボタンで画像を選択

②【Zoom ＋ －】ボタンでチェックを付ける / 外す

③指定し終わったら、【OK】ボタンを押す

参考

- 選択できる画像は 1200 個までです。
- メニューで、［JPEG 画像をすべて選択］、［RAW 画像をすべて選択］を設定できます。

以降の操作は、本書 62 ページ「選んで印刷する」6 以降と同じです。

● 印刷設定について

印刷設定画面では以下の項目を設定します。プリンタの機種によって、指定できない項目があります。

部数

印刷部数を指定します。
※［この画像を印刷］の場合のみ、部数の指定ができます。

日付印刷

画像に、撮影した日付を印刷する / しないを選択します。

参考

• 印刷される日付は Exif データから設定されます。日付情報がないデータはファイルの日付が印刷されます。

用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを選択します。
登録した印刷レイアウトを適用した場合は、設定されている用紙サイズが選択されます。ただし、プリンタがその用紙サイズに対応していないときは、エラーメッセージが表示されます。用紙サイズを選択してください。
※ 登録した印刷レイアウトを適用して用紙サイズを指定すると、用紙サイズによっては画像が切れて印刷されることがあります。

用紙種類

印刷する用紙の種類を選択します。

印刷モード

印刷画質を選択します。
高速　　　：印刷速度を重視した設定で印刷します。
高画質　　：推奨設定で印刷します。
最高画質　：最高の印刷品質が得られる設定で印刷します。

参考

• ［用紙サイズ］、［用紙種類］、［印刷モード］は、プリンタの機種によって選択できる項目が変わります。またプリンタの機種によっては、設定項目に［プリンタ側で設定］と表示されることがあります。この場合にはプリンタの設定が反映されます。

自動画像補正

画像にオートフォトファインの効果をかけて印刷する / しないを選択します。印刷する画像やプリンタの機種によっては選択できないことがあります。
オン：画像にオートフォトファインの効果をかけて印刷します。
オフ：画像にオートフォトファインの効果をかけずに印刷します。

参考

• 本製品で現像できる RAW データのみ印刷できます。RAW データを選択できても、印刷できない場合があります。
RAW データの対応状況についてはエプソンのホームページをご覧ください。（http://www.epson.jp）

音楽を聴く

再生できる音楽データ

本製品では、以下の形式の音楽データを再生できます。

拡張子	音声コーデック	最大ビットレート
m4a＊1	AAC（MPEG4）	320Kbps（48KHz、16bit、ステレオ）
mp3	MPEG1-Layer3	320Kbps（48KHz、16bit、ステレオ）
	MPEG2-Layer3＊2	160Kbps（24KHz、16bit、ステレオ）
	MPEG2.5-Layer3＊2	160Kbps（12KHz、16bit、ステレオ）

＊1：Apple Lossless 形式は再生できません。
＊2：5.1ch は対応していません。

参考

- 本製品では上記の形式以外の音楽データは再生できません。
  （MPEG2 AAC/cda/aif/aifc/aiff/au/snd/m4p/mpc/ogg/ac3/vqf/vql/ATRAC/ATRAC3/ape などは再生できません。）
- ロスレス圧縮（可逆圧縮）の音楽データは再生できません。
- CD などの音楽を取り込みたい場合は、市販のソフトウェアなどを使用してデータ形式を変換し、パソコンに保存しておいてください。
- 著作権保護付きの音楽データは、再生できません。

● 再生できる音楽データのサイズ

本製品で再生できる音楽データのサイズは、1 ファイルあたり最大 200MB までです。
また、［ミュージック］に登録できる曲数は 10000 曲までです。

音楽データを本製品に取り込む

音楽データは、Epson Link2 を使用して、パソコンから本製品に取り込んでください。

参考

- メモリカードから音楽データを取り込んでも、［ミュージック］にはコピーできません。［フォト］/［ビデオ］へはコピーして再生できますが、音楽リストには登録できません。
- ［バックアップデータ］に取り込んだ音楽データは表示 / 再生できません。

1 パソコンから音楽データを取り込みます。

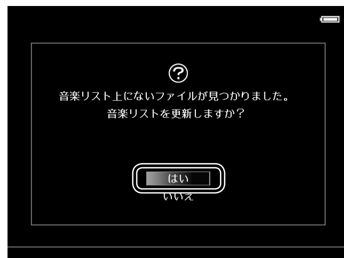
本書 25 ページ「Epson Link2 でデータを取り込む」

2 Epson Link2 を終了し、本製品をパソコンから取り外します。

本書 18 ページ「パソコンから取り外すときは」

3 音楽リストを更新します。

音楽データを取り込むと、以下の確認メッセージが表示されます。



①【↑ ↓】ボタンで［はい］を選択

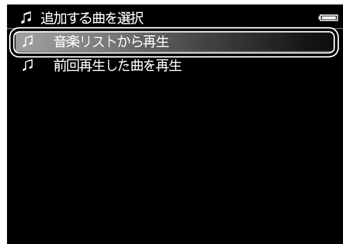
②【OK】ボタンを押す

※ ここで更新しなかった場合は、HOME 画面で［ミュージック］を選択すると、同様の確認メッセージが表示されます。

音楽を再生する

1 HOME 画面で［ミュージック］を選択し、【→】ボタンを押します。

2 ［音楽リストから再生］を選択します。



①【↑ ↓】ボタンで［音楽リストから再生］を選択

②【OK】ボタンを押す

※［前回再生した曲を再生］を選択すると、前回最後に再生した曲が再生されます。

3 再生する曲を選択します。



①【↑ ↓】ボタンで項目を選択

②【→】ボタンを押す

※ 音楽データを取り込んでから音楽リストを更新していない場合は、［音楽リスト更新］を選択し更新してください。

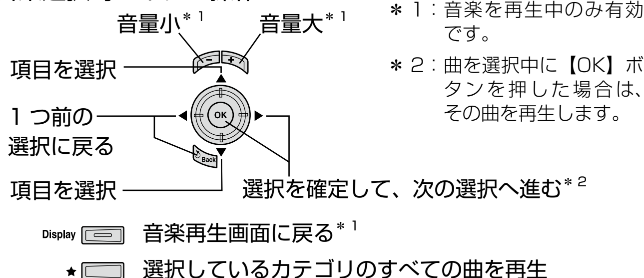
①、②を繰り返し、目的の曲または音楽リストを選択します。

4 【★】ボタンを押し、再生します。

参考

- アルバムやアーティストなど、カテゴリを選択して【★】ボタンを押すと、そのカテゴリに含まれるすべての曲が再生されます。
- ［ミュージック］以外に保存されている音楽データは、データ一覧画面から音楽データを選んで【OK】ボタンを押すと再生が始まります。再生が終わると、同じフォルダにある次の音楽データを再生します。

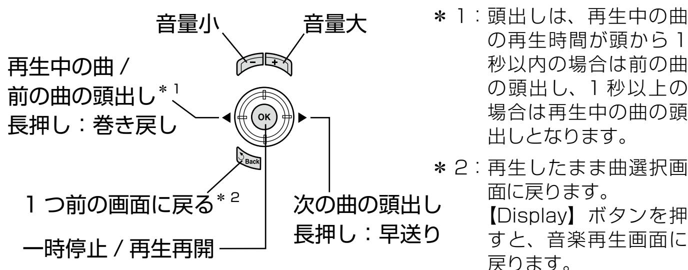
● 音楽選択時のボタン操作



＊ 1：音楽を再生中のみ有効です。

＊ 2：曲を選択中に【OK】ボタンを押した場合は、その曲を再生します。

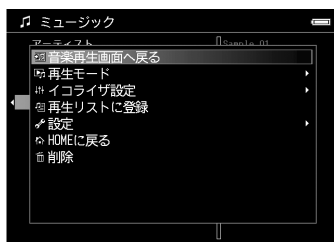
● 音楽再生中のボタン操作



＊ 1：頭出しは、再生中の曲の再生時間が頭から 1 秒以内の場合は前の曲の頭出し、1 秒以上の場合は再生中の曲の頭出しとなります。

＊ 2：再生したまま曲選択画面に戻ります。【Display】ボタンを押すと、音楽再生画面に戻ります。

［ミュージック］メニュー一覧



音楽再生画面へ戻る
音楽再生中に曲選択画面を表示したときに表示されます。音楽再生画面に戻ります。

再生モード
再生の仕方を設定します。

［リピートなし］：
選択したカテゴリの曲をすべて再生して終了します。

［1 曲リピート］：
選択した曲を繰り返し再生します。アルバムなどカテゴリを選択した場合は、1 曲目の曲を繰り返し再生します。

［全曲リピート］：
再生順設定（シャッフル、通常再生）の曲順で、選択したカテゴリの曲をすべて繰り返し再生します。

［シャッフル］：
曲順をシャッフルして再生します。

［通常再生］：
トラック順（画面に表示されている順）に再生します。

曲順を変更
再生リストのトラック順を変更します。
トラック順を変更したい曲を選択して、メニューを実行します。【↑ ↓】ボタンを 1 回押すごとに、曲順が 1 つ前の曲 / 次の曲と入れ替わります。

イコライザ設定
プリセットイコライザで、音楽のジャンルに合ったサウンドに調整できます。また、ユーザー設定も可能です。

調整したい曲を選択し、メニューを実行します。

プリセット：
［ノーマル］、［ジャズ］、［クラシック］、［ロック］、［ポップ］、［ライブ］、［フルベース］から選択します。

カスタム：
［ノーマル］を選択し、イコライザ設定画面を表示します。【← →】ボタンで音域を、【↑ ↓】ボタンでボリュームを選択し、お好みの音質に調整します。

再生リストに登録
再生リストを作成 / 編集します。
［(既存の再生リストタイトル)］：
既存の再生リストを編集します。

［新規作成］：
新しく再生リストを作成します。

音楽再生時と同様の方法で曲を選択し、【★】ボタンでチェックを付けて【OK】ボタンを押すと、曲が登録されます。
※ 再生リストは、Epson Link2 を使用しても作成 / 編集できます。

この再生リストを削除
選択中の再生リストを削除します。
［ミュージック］画面で［再生リスト］を選択後、削除したい再生リストを選択し、メニューを実行します。

設定
画面の明るさ調整、ガイド音のオン / オフ、操作音のオン / オフの切り替えをします。（☞87 ページ「画面の明るさ」、本書 86 ページ「音設定」）

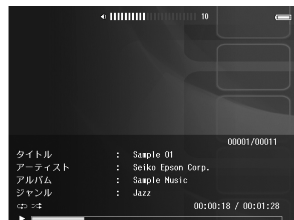
HOME に戻る	HOME 画面に戻ります。
削除	音楽データや再生リストから曲を削除します。 音楽データを削除する場合は、再生リスト以外の曲選択画面でメニューを実行します。 再生リストの曲を削除する場合は、再生リストの曲一覧を表示して、メニューを実行します。 音楽再生時と同様の方法で曲を選択し、【★】ボタンでチェックを付けて【OK】ボタンを押すと、音楽データ / 曲が削除されます。

参考

- 再生リストや再生リストに登録されている曲を削除しても、音楽データ自体は削除されません。

音楽の情報を表示する

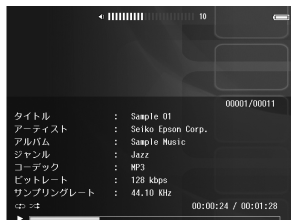
音楽再生中は【Display】ボタンを 1 回押すごとに、詳細情報表示と簡易情報表示が交互に切り替わります。



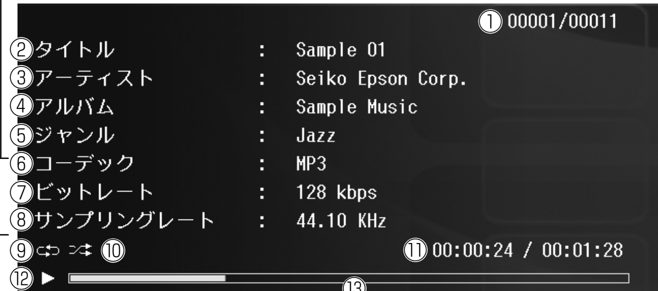
簡易情報表示

【Display】





詳細情報表示



①現在の曲番号 / 総曲数
②タイトル
③アーティスト名
④アルバム名
⑤ジャンル
⑥コーデック
⑦ビットレート
⑧サンプリングレート
⑨リピート設定
（表示なし）：リピートなし　：1 曲リピート　：全曲リピート
⑩再生順設定
：シャッフル　（表示なし）：通常再生
⑪現在の再生時間 / 総再生時間
⑫再生状態表示アイコン
▶：再生中　▶▶：早送り中　◀◀：巻き戻し中　❙❙：一時停止中
⑬プログレスバー
（全体に対しどのくらい再生されたかを示しています。）

※音楽データによっては、各情報が表示されないものがあります。

レーティングを設定する

静止画に★を 1 ～ 5 個付けて、レーティング（優先度付け）を 5 段階で設定できます。また、「★ 3 つ以上」など、指定したレーティング条件の画像のみを表示するフィルタ表示ができます。

参考

- レーティングは、静止画のみ設定できます。動画や音楽データ、フォルダには設定できません。
- メモリカード、USB デバイスの画像データには、レーティングを設定できません。
- レーティングを設定した画像データをパソコンにコピーして、Adobe Bridge *で活用できます。（本書 16 ページ「Adobe Bridge をお使いのお客様へ」）

＊：Adobe 社のファイル管理ソフトウェアです。

レーティングを設定する

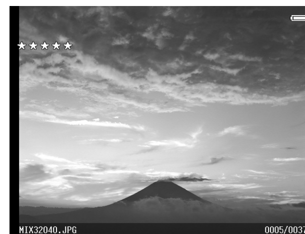
1 レーティングを設定したい静止画を表示するか、データ一覧画面で選択します。

本書 35 ページ「画像を表示する」

2 【★】ボタンを押します。

【★】ボタンを 1 回押すごとに、次のように★が付けられます。





画像表示中は、簡易情報表示に切り替わり★が表示されます。拡大表示時も設定できます。



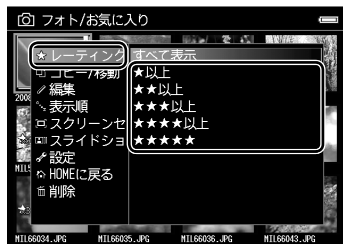
データ一覧画面では、サムネイル中、サムネイル小、リスト表示のどの画面でも設定ができます。

画像をフィルタ表示する

1 フィルタ表示をしたいフォルダ内のデータ一覧画面を表示します。

☞ 本書 35 ページ「画像を表示する」

2 メニューからフィルタを選択します。



①【Menu】ボタンを押す

②【↑ ↓】ボタンで［レーティングフィルタ表示］を選択

③【→】ボタンを押す

④【↑ ↓】ボタンで目的のフィルタを選択

⑤【OK】ボタンを押す

3 目的の画像が表示されます。

フィルタ表示は、以下の操作で解除されます。

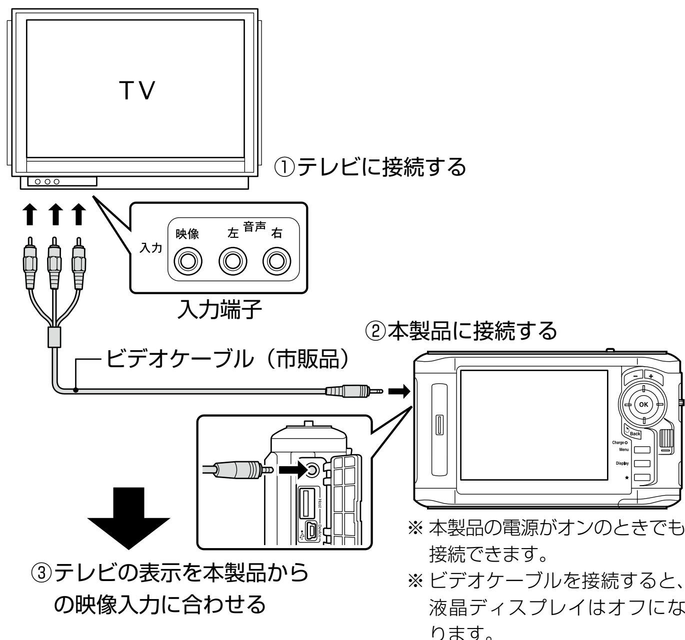
- 2 のメニューから［すべて表示］を選択
- 【Back】ボタンを押し、上の階層の画面を表示
- サブフォルダを選択し【OK】ボタンを押して、サブフォルダ内を表示

参考

- フィルタ表示中も、【★】ボタンでレーティング設定を変更できます。
- フォルダはフィルタ対象ではありません。常に表示されます。

テレビに接続して見る

本製品をテレビやプロジェクタなどビデオ入力機能のある映像機器に接続すると、接続した映像機器で画像やスライドショーを見ることができます。



※ 本製品の電源がオンのときでも接続できます。

※ ビデオケーブルを接続すると、液晶ディスプレイはオフになります。

参考

- 使用する表示機器（テレビなど）によっては、画面の上下左右が表示できないことがあります。
- 動作確認済みのビデオケーブルの最新情報については、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）をご覧ください。
- 日本国内で使用する場合、ビデオ信号は［NTSC］に設定してください。（☞ 本書 85 ページ「ビデオ信号」）
- ビデオケーブルを取り外すときは、本製品、テレビとも電源オンのまま取り外せます。

エラーメッセージ一覧

こんなメッセージが表示されたときは	こうしてください
本製品のハードディスクにアクセスできません。 ハードディスクに問題があるか、FAT32以外でフォーマットされている可能性があります。	ハードディスクが NTFS でフォーマットされた可能性があります。NTFS でフォーマットされたハードディスクは、本製品を初期化してください。（☞ 本書 79 ページ「初期化の仕方」） なお初期化すると、本製品に保存されていたデータはすべて消去されます。パソコンからは本製品内のデータが見えますので、初期化する前に必要なデータをパソコンにバックアップしておくことをお勧めします。（☞ 本書 32 ページ「本製品のデータをパソコンにコピーする」）
ファイルへのアクセスエラーが発生しました。	パソコンに接続して、そのファイルがパソコン上で正しく認識されるか / 開けるかを確認してください。もしパソコン上でも正しく認識されない / 開けない場合は、そのファイルが壊れていることが考えられます。
前回のデータ取り込みは失敗しました。 再度データ取り込みを実行してください。	データ取り込みの途中でバッテリ残量がなくなるなどの理由で取り込みが中断された場合、次回起動時に表示されます。 データを取り込むときは、できるだけ AC アダプタを接続するか、十分にバッテリ残量のある状態で行ってください。

こんなメッセージが表示されたときは	こうしてください
	何らかの原因により、本製品が高温になった可能性があります。本製品の温度が下がるまでお待ちください。AC アダプタを使用している場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。しばらく待っても本製品の温度が下がらないときは、バッテリを取り外し、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。（バッテリが高温になっている場合がありますので、注意して取り外してください。）
	バッテリ残量が少なくなっています。AC アダプタを接続してお使いになるか、バッテリを充電してください。
① ② Power Off or Press Reset	何らかの原因により本製品が不安定な状態になっています。 本製品をリセットしてください。（☞ 本書 79 ページ「リセットの仕方」）

トラブル対処方法

「故障かな？」と思ったときは、修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。対処に従っても問題が解決しないときは、故障している可能性がありますので、お買い求めの販売店またはエプソン修理センター（☞ 本書裏表紙）にご連絡ください。

⚠ 警 告	
	AC アダプタには、高電圧の回路があります。分解はしないでください。感電のおそれがあります。

! 重 要

- 本製品には、お客様自身で修理・交換できる部品はありません。故障のときや調整が必要なときは、お買い求めの販売店、またはエプソン修理センター（☞ 本書裏表紙）にお問い合わせください。
- 次のような場合は故障と考えられますので、すぐ AC アダプタとバッテリを抜いて使用を中断し、お買い求めの販売店、またはエプソン修理センター（☞ 本書裏表紙）にご連絡ください。
  - 本製品、バッテリが極端に発熱する（非常に温度が高い）
  - 変なにおいや音がする、煙が出る

電源に関するトラブル

しばらくすると電源がオフになる

✔ 省電力機能が働いています。（☞ 本書 83 ページ「省電力機能について」）

✔ 本製品が高温になっていませんか。布などで覆った状態で使用したときなど、本製品が高温になると自動的に電源がオフになることがあります。このときは本製品の温度が下がるまでお待ちください。

✔ バッテリ残量が少なくなっています。（☞ 本書 12 ページ「バッテリを充電する」）

電源がオンにならない

✔ イルミネーションランプ（ブルー）は点灯しましたか。電源をオンにしてもイルミネーションランプ（ブルー）が点灯しない場合は、バッテリ残量が少なくなっています。AC アダプタを接続してお使いになるか、バッテリを充電してください。

✔ バッテリを正しくセットしてください。（☞ 本書 12 ページ「バッテリを本製品にセットする」）

電源がオフにならない

✔ アクセスランプ（オレンジ）が点滅していませんか。アクセスランプ（オレンジ）が点滅しているときは、本製品が動作中です。しばらくお待ちください。

充電できない（充電ランプが点灯しない）

✔ バッテリの端子が汚れていませんか。乾いた柔らかい布で端子部の汚れをふいてください。

✔ AC アダプタを接続した後にバッテリをセットしませんでしたか。AC アダプタを一旦取り外し、再度接続してください。

充電できない（充電ランプがオレンジ色で点灯している）

✔ バッテリがセットされていません。バッテリをセットしてください。

✔ バッテリの温度が高くなっているか、バッテリが破損しています。AC アダプタを取り外し 30 分程経ってから、再度 AC アダプタを接続してください。それでもオレンジ色で点灯するときは、バッテリが破損している可能性があります。お買い求めの販売店、またはエプソン修理センター（☞ 本書裏表紙）にご連絡ください。

いつまで経っても充電が完了しない（充電ランプが消灯しない）

✔ 電源をオンにしたまま充電すると、時間（最大 30 時間程度）がかかります。急いで充電するときは、電源をオフにして充電してください。

✔ 電源オフにして充電する場合、11 時間を超えても充電が完了しないときは充電をやめてください。また、充電中に発熱・異臭等の異常があった場合は、すぐに充電をやめてください。

液晶ディスプレイに関するトラブル

画面が暗い

✔ 省電力機能が働いていませんか。いずれかのボタンを押してください。省電力機能が解除されます。

画面が白い

✔［画面の明るさ］で明るく設定されていませんか。［画面の明るさ］で明るさを調節してください。（☞本書 87 ページ「画面の明るさ」）

画面が表示されない

✔ ビデオケーブルが接続されていませんか。ビデオケーブルが接続されているときは、液晶ディスプレイは表示されません。

画面の表示が消えてしまった

✔ 省電力機能が働いていませんか。メモリカードを抜いたり、本製品の電源をオフにしないでください。電源スイッチ以外のボタンを押すと復帰します。

メモリカードに関するトラブル

メモリカードを認識しない

✔ メモリカードは奥まで挿入されていますか。メモリカードの向きを確認し、奥まできちんと押し込んでください。

✔ アクセスランプ（オレンジ）は点滅していますか。メモリカードをセットしたときに、アクセスランプ（オレンジ）が点滅しない場合は、メモリカードが正しく挿入されているか確認してください。正しく挿入されていてもメモリカードを認識しないときは、メモリカードが他の機器で使用できるか確認してください。

✔ メモリカードの端子部分が汚れていませんか。乾いた柔らかい布で端子部を軽くふいてください。

メモリカードに保存できない

✔ SD メモリーカードをご使用の場合、ライトプロテクト（書き込み禁止）状態になっていませんか。ライトプロテクト（書き込み禁止）を解除してください。

USB デバイスに関するトラブル

本製品が USB デバイスを認識しない

✔ AC アダプタを接続していますか。本製品に AC アダプタを接続してください。USB デバイスに AC 電源がある場合は、USB デバイスにも AC アダプタを接続してください。

✔ USB デバイスはマスストレージクラスに対応していますか。マスストレージクラスに対応している USB デバイスをお使いください。

静止画に関するトラブル

静止画が表示できない

✔静止画が壊れているか、サポートされていない形式ではありませんか。表示できるデータ形式を確認してください。（☞ 本書 33 ページ「静止画」、「RAW データの表示について」）

動画に関するトラブル

動画が再生できない

✔データが壊れているか、サポートされていない形式ではありませんか。再生できるデータ形式を確認してください。（☞ 本書 34 ページ「動画」）

再生中に画面が乱れたり止まったりする、音が途切れる

✔データのビットレートが高い可能性があります。再生できるデータ形式を確認してください。（☞ 本書 34 ページ「動画」）

音が出ない

✔音声コーデックの形式がサポートされていない可能性があります。再生できるデータ形式を確認してください。（☞ 本書 34 ページ「動画」）

音楽に関するトラブル

音楽が再生できない

✔データが壊れているか、サポートされていない形式ではありませんか。再生できるデータ形式を確認してください。（☞ 本書 66 ページ「再生できる音楽データ」）

✔音量が［0］になっていませんか。音量を大きくしてください。

再生中に音が途切れる

✔データのビットレートが高い可能性があります。再生できるデータ形式を確認してください。（☞ 本書 66 ページ「再生できる音楽データ」）

データ整理に関するトラブル

コピーができない

✔コピー先のハードディスクやメモリカードがいっぱいではありませんか。コピー先がハードディスクの場合は、不要なデータをハードディスクから削除してください。コピー先がメモリカードの場合は、容量を確認し、空きのあるメディアをお使いください。

CD-R/DVD-R にコピーができない

✔本製品のハードディスクの空き容量が不足していませんか。
CD-R/DVD-R にコピーする場合は、コピーイメージを本製品のハードディスクに作成するため、コピーするデータよりも大きい空き容量が必要です。不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。

✔コピーするファイルより CD-R/DVD-R の容量が小さくないですか。1 つのファイルのサイズがメディアより大きい場合は、コピーできません。

✔フォルダの階層が 6 階層より多いデータをコピーしようとしていませんか。本製品から CD-R/DVD-R にコピーできるフォルダの階層は 6 階層までです。フォルダの階層を 6 階層以下にしてからコピーしてください。

削除ができない

✔ 画像やフォルダが「保護」されていませんか。画像やフォルダの保護を解除してください。（☞ 本書 54 ページ「大切なデータを保護する」）

データの転送が途中で止まってしまった

✔ 容量の大きいデータを転送していませんか。容量の大きいデータは転送に時間がかかります。そのままお待ちください。

印刷に関するトラブル

印刷できない

✔ プリンタとの接続が外れていませんか。正しく接続し直してください。（☞ 本書 62 ページ「選んで印刷する」6 ）

✔ プリンタの電源がオフになっていませんか。プリンタの電源をオンにしてください。

✔ プリンタは本製品に対応していますか。お使いのプリンタが PictBridge に対応しているかどうか確認してください。対応していないプリンタは使用できません。

✔ バッテリ残量が少なくなっています。印刷時は、AC アダプタを接続してください。（☞ 本書 12ページ「ACアダプタを接続して充電する」）

用紙が選択できない

✔ 接続したプリンタの対応用紙を確認してください。

印刷がかすれたり、変な色で印刷されたりする

✔ プリンタ側で、ヘッドクリーニングやギャップ調整など必要な対処を行ってください。

パソコンに関するトラブル

パソコン側から本製品が認識できない

✔ 対応していない OS ではありませんか。対応 OS を確認してください。（☞ 本書 82 ページ「対応 OS」）対応していない OS では認識できません。

✔ ［USB デバイス］－［パソコンと接続する］を選択してから、パソコンに接続しましたか。この手順で接続し直してください。

テレビとの接続に関するトラブル

テレビに画像が表示されない

✔ 接続が外れていませんか。正しく接続し直してください。（☞ 本書 72 ページ「テレビに接続して見る」）

✔ テレビのチャンネルは正しいですか。テレビのチャンネルや、テレビとビデオの切り替えなどを確認してください。

✔ ビデオ出力信号が［PAL］になっていませんか。一般に、日本国内や米国でお使いいただくときは［NTSC］に設定します。（☞ 本書 85 ページ「ビデオ信号」）

✔ 指定外のビデオケーブルを使用していませんか。動作確認済みのビデオケーブルについては、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）をご覧ください。

その他

操作できない

✔ 液晶ディスプレイに「砂時計」が表示されているときは、本製品がデータ処理などを行っていることを示しています。この場合は、しばらくお待ちください。

✔ 操作を受け付けない状態ですか。何らかの原因により、本製品が不安定な状態になりました。リセットしてください。（☞ 本書 79 ページ「リセットの仕方」）

✔ バッテリ残量が少なくなっています。（☞ 本書 12 ページ「バッテリを充電する」）

✔ 本製品がホールド状態になっていませんか。本製品のホールドを解除してください。

本製品に保存されているはずのデータが表示されない

✔ 本製品をパソコンに接続し、接続を解除した後で、データが表示されるかどうかをご確認ください。表示されない場合は、再度本製品をパソコンに接続し、以下のように対処してください。

1. 本製品のフォルダやファイルを表示する
2. 「BACKUP」フォルダ内などに存在するすべての「.SYS2」フォルダを削除する

それでも表示されない場合は、本製品の管理情報が壊れた可能性があります。この場合は、エプソン修理センターまでご連絡ください。

✔ プライベート設定されたフォルダではありませんか。[プライベートフォルダを表示]に設定を変更してください。（☞ 本書 55 ページ「プライベートフォルダを表示 / 非表示にする」）

ファイルにアクセスできない

✔ 言語設定を変更しませんでしたか。言語設定を変更すると、既存のフォルダやファイルにアクセスできなくなることがあります。（☞ 本書 87 ページ「言語設定を変更するときは」）

パスワードを忘れてしまった

✔ ［セットアップ］－［本体情報］－［パスワード設定］で、「5555」「7777」「3333」の順で入力してください。「パスワードを初期化しますか？」というメッセージが表示されます。［はい］を選択すると、パスワードが初期化され「0000」に戻ります。

データを削除しても、ハードディスクの空き容量が増えない

✔ パソコンからの操作でデータを削除しませんでしたか。この場合、データは本製品内のごみ箱に移動されただけで、データ自体は残っていることがあります。本製品をパソコンに接続して、ごみ箱を空にしてください。

ハードディスクの容量に対してユーザー領域が少ない

✔ ハードディスクと Windwos OS では容量の計算方法が異なります。また、一部のハードディスク容量をシステム用に使用しているため、実際の使用容量が少なく表示されます。

ハードディスクの容量がいっぱいになってしまった

✔ 画像表示用の一時ファイルを削除することで HDD の空き領域を増やすことができます。HOME 画面またはデータ一覧画面、階層表示画面のメニューから［設定］－［一時ファイルをすべて消去］の順で選択します。

画像の色空間情報が認識されない

✔ 画像編集用ソフト等で画像を加工すると、色空間情報が失われたり、本製品で認識できない形に変換されることがあります。色空間情報が失われた画像の場合は、［セットアップ］－［表示］－［色空間］で色空間（［sRGB で表示］または［Adobe RGB で表示］）を選択してください。選択した色空間で表示されます。

本製品でレーティング情報を付けた静止画（JPEG/DNG ファイル）の IPTC コアを Adobe Bridge で編集できない

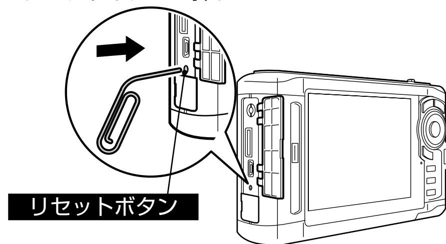
✔ 本製品でレーティングを付けた静止画（JPEG/DNG ファイル）を、レーティング情報と一緒にパソコンに転送すると、このような現象が起きます。この問題を解消するためには、本書 16 ページ「Adobe Bridge をお使いのお客様へ」を参照してください。

ファイルが表示されない

✔ データ一覧画面などの画面上で、1000 個を超えるファイルを一度に表示することはできません。ファイルが表示されない場合は、ファイルを複数のフォルダに分割し、フォルダ表示に切り替えてください。（☞ 本書 38 ページ「表示モードを切り替える」）

リセットの仕方

何らかの原因により本製品が不安定な状態になったときは、「リセット」を行います。リセットすると、本製品が再起動します。



! 重要

- シャープペンシルの芯など、折れやすい素材でリセットボタンを押さないでください。

参考

- リセットをしても、本製品に保存されているデータは消えません。また、各種の設定も保持されます。

初期化の仕方

本製品内のデータをすべて消去したいときなど、本製品を初期化できます。

! 重要

- 初期化すると、本製品に保存されているデータはすべて消去されます。消去してもよいか十分ご確認の上、実行してください。

1 【OK】ボタンと【Menu】ボタンを同時に押しながら、電源をオンにします。

2 初期化確認画面で［はい］を選択します。

①【↑ ↓】ボタンで［はい］を選択

②【OK】ボタンを押す

3 パスワードを入力します。

☞ 本書 55 ページ「プライベートフォルダを表示 / 非表示にする」3

4 データ消去確認画面で［はい］を選択します。

①【↑ ↓】ボタンで［はい］を選択

②【OK】ボタンを押す

初期化に時間がかかる場合があるため、本製品に AC アダプタを接続してください。（☞ 本書 12 ページ「AC アダプタを接続して充電する」）

5 電源をオフにします。

保管するときは

長期間使用しないときは以下のように保管してください。

- バッテリ容量を半分程度にしてからバッテリを取り外しておいてください。取り付けたままにしていると、過放電によりバッテリが使用できなくなることがあります。バッテリは涼しい場所に保管してください。
- 本製品を強い磁気、強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境で保管しないでください。データが壊れたり消失することがあります。

参考

- バッテリがなくなってから約 1 日経過すると、日付と時刻はリセットされ、購入時の設定（2008 年 1 月 1 日 12：00）に戻ります。
- バッテリがなくなっても、保存しているデータは消えません。次回、電源をオンにすると前回の状態で表示されます。

お手入れの仕方

⚠警告



本製品のお手入れの際は、必ず AC アダプタを取り外してください。感電のおそれがあります。

● 本製品のお手入れ

電源がオフになっていることを確認し、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

● 液晶ディスプレイのお手入れ

電源がオフになっていることを確認し、中性洗剤を染み込ませてしっかり絞った柔らかい布で軽くふいてください。

● AC アダプタのお手入れ

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

● バッテリのお手入れ

バッテリの端子部に付着した汚れは、乾いた柔らかい布できれいにふき取り、常にきれいな状態でお使いください。バッテリ接点が汚れていると、バッテリ寿命が短くなる場合があります。

！重要

- 本製品のバッテリ室内部は、絶対にふかないでください。故障のおそれがあります。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、本書裏表紙にてご案内しています。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

● 保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。
記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

● 保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。
◎お買い求めいただいた販売店
◎エプソン修理センター（裏表紙の一覧表をご確認ください）
受付時間： 月曜日～金曜日（土日祝日・弊社指定の休日を除く）
9：00 ～ 17：30

● 保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込 / 送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください。
ドア to ドアサービス	• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

● マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に添付されておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。
＜ http://www.epson.jp/support/camera/manual.htm ＞

本製品の仕様

型番	P-7000	P-6000
外形寸法（本体）	150.0mm（幅）× 88.7mm（奥行き）× 33.1mm（厚み）（最厚部 37.6mm）※突起部含まず。	
質量	約 433g	約 428g
	※バッテリ含む、AC アダプタ・メモリカード含まず。	
内部電源（リチウムイオンバッテリ）	型番：PALB3	
	容量：2450mAh	
	電圧：3.7V 質量：約 54g 充電回数：300 回以上（20℃時） 充電時間：約 3.5 時間（非動作時） 保存温度：－ 20 ～ 40℃ ※長時間保存の場合は涼しい場所に保管してください。	
外部電源（専用 AC アダプタ）	型番：A351H 最大消費電力：18W 入力：AC100 ～ 240V、0.3 ～ 0.1A、50 ～ 60Hz 出力：DC 5 V 2.3A	
ハードディスク	2.5 型 160GB（ユーザー領域：148GB）	2.5 型 80GB（ユーザー領域：73.8GB）
駆動時間（満充電時）	※以下の使用時間は、使用するメモリカード、ファイル数、使用温度その他の状況によって異なります。 • スライドショー　約 3.5 時間（工場出荷時設定） • 動画再生時　約 3 時間（2Mbps、MPEG4 動画再生時） • 音楽再生時　約 6 時間（128Kbps、MP3 音楽再生時）	

スピーカー	ダイナミック型（モノラル）
液晶ディスプレイ	4.0 型、約 1677 万色 透過型低温ポリシリコン TFT 液晶 640 × R-YG-B-EG × 480 ドット （ドットピッチ 0.032 × 0.128mm） （R：赤、YG：黄緑、B：青、EG：エメラルドグリーン）
対応プリンタ	PictBridge 対応プリンタ
使用環境	温度：（動作時）5 ～ 35℃ （非動作時）－ 20 ～ 60℃ 湿度：（動作時、非結露）30 ～ 80% （非動作時、非結露）10 ～ 80% 高度：（動作時）3000m 以下 （非動作時）12000m 以下 ※高度が非常に高い場所でのご使用は気圧の関係により、本製品のハードディスクに悪影響を与えるおそれがあります。
対応 OS	Windows 2000 Professional Windows XP Home Edition Windows XP Professional Windows Vista Mac OS X v10.3 以降
インターフェイス	CF カードスロット（TYPE II）× 1 SD メモリーカードスロット× 1 USB2.0（Standard-A）インターフェイスホストコネクタ× 1 USB2.0（Mini-B）インターフェイスデバイスコネクタ× 1 ビデオ出力コネクタ（4 極ミニジャック）× 1 ヘッドホン出力コネクタ（3 極ミニジャック）× 1 電源コネクタ× 1

車載充電器（P-7000のみ）	型番：EU-217 外形寸法： 105mm × 75mm × 26mm 質量：約 110g ※バッテリ・カーアダプタ含まず。 定格入力： DC 5-5.15V、2A 充電時間： 約 3.5 時間 （バッテリ 1 本の場合、非動作時） 約 4.0 時間 （バッテリ 2 本の場合、非動作時） 使用温度：（動作時）5 ～ 40℃ （非動作時）－ 20 ～ 60℃
カーアダプタ（P-7000のみ）	型番：CLM10D-050 ケーブル長：1.5m 電源：DC 12V マイナスアース車のみ 定格出力：DC 5.15V、2A 使用温度：（動作時）5 ～ 40℃ （非動作時）－ 20 ～ 60℃

改良などにより、予告なく本製品の外観や仕様などを変更することがあります。

省電力機能について

本製品はバッテリの無駄な消耗を防ぐため、省電力機能を備えています。AC アダプタを接続していないときに何も操作しない状態が一定時間続くと、省電力機能の設定（本書 84 ページ「省電力」）に応じて自動的に、液晶ディスプレイが暗くなったり、液晶ディスプレイや電源がオフになったりします。

液晶ディスプレイがオフになっているときは、イルミネーションランプが青く点滅し、省電力機能が働いていることを示します。
【OK】ボタンや【Back】ボタンなど、電源スイッチ以外のいずれかのボタンを押すと、復帰します。

参考

- 音楽再生中、印刷中は液晶ディスプレイはオフになりますが、電源はオフになりません。
- スライドショー表示中、動画再生時、AC アダプタ接続時は、省電力機能は働きません。
- パソコン接続時やビデオ出力コネクタ接続時は、液晶ディスプレイはオフになります。省電力機能は働きません。

スクリーンセーバーについて

AC アダプタ接続中に何も操作しない状態が一定時間続くと、スクリーンセーバーとしてスライドショーが開始されます。
スクリーンセーバーが開始されるのは、以下の画面が表示されているときです。

- HOME 画面
- データ一覧画面（サムネイル大、サムネイル小、リスト表示）

以下の操作を行うと、スクリーンセーバーは終了し、開始前の状態に戻ります。

- いずれかのボタンを押す
- AC アダプタ・AV ジャック・ヘッドホンジャックを抜き差しする
- メモリカードを抜き差しする

参考

- 購入時は、3 分経過するとスクリーンセーバーが開始されるよう設定されています。スクリーンセーバー開始までの時間は変更できます。（本書 84 ページ「スクリーンセーバー」）

［セットアップ］メニュー一覧

設定内容	設定値（太字：購入時の設定）
本体情報	
ファームウェア Ver.	ファームバージョンを確認できます。
容量確認	本製品やメモリカードの容量、使用量を確認できます。 • ハードディスク使用量 / 総容量 • ［バックアップデータ］使用量 • ［フォト］使用量 • ［ビデオ］使用量 • ［ミュージック］使用量 • CF カード使用量 / 総容量 • SD メモリーカード使用量 / 総容量 ※設定はできません。 ※［セットアップ］以外の画面で、メニューから［設定］－［一時ファイルをすべて消去］を実行すると、空き容量を増やせる場合があります。
パスワード設定	プライベートフォルダを設定 / 設定解除 / 表示 / 非表示を設定する際のパスワードを設定します。 購入時は、「0000」に設定されています。 **パスワードの変更の仕方** ①現在のパスワード（初めて設定するときは「0000」）を入力します。 【← →】ボタンで桁を移動し、【↑ ↓】ボタンで数値を入力します。4 桁の数字を設定できたら、【OK】ボタンを押します。 ②①と同様の方法で、新しいパスワードを入力します。 ③設定終了画面が表示されたら、【OK】ボタンを押します。 ※パスワードを忘れてしまったときは、初期化すると購入時の設定（「0000」）に戻すことができます。（☞ 本書 78 ページ「パスワードを忘れてしまった」）
省電力	
画面を暗くする	**1 分**、3 分、5 分、10 分、15 分
画面をオフにする	1 分、3 分、**5 分**、10 分、15 分
電源をオフにする	1 分、3 分、5 分、**10 分**、15 分
スクリーンセーバー	1 分、**3 分**、5 分、10 分、15 分 スクリーンセーバーに切り替わるまでの時間を設定します。

設定内容	設定値（太字：購入時の設定）
表示	
ビデオ信号	・**NTSC** ・PAL ※ビデオ信号方式には「NTSC」と「PAL」方式があり、国によって異なります。日本は「NTSC」方式ですので、通常は［NTSC］のままでお使いください。
画像を自動回転	・**オン** ・オフ ※画像の回転情報は、Exif 情報から読み出されます。
非対応データを表示	・する ・**しない** ※非対応データとは、本製品では扱うことができないデータ（BMP 画像や文書ファイルなどの一般データ）の総称です。 ※［セットアップ］画面以外の画面のメニューでも設定できます。
色空間	・**sRGB で表示** ・Adobe RGB で表示 ※色空間が指定されていない画像のみ、設定した色空間で表示できます。色空間が指定されている画像は、この設定に関わらず指定されている色空間で表示されます。AdobeRGB、sRGB 以外の ICC プロファイルには対応していません。

設定内容	設定値（太字：購入時の設定）
RAW 拡大表示設定	RAW 画像の拡大表示時に、現像可能なカメラの RAW データの場合のみ、現像画像表示とスクリーンネイル表示から選択できます。 ・現像結果を優先して表示 ・**スクリーンネイルを表示**
データ取り込み設定 ［CF/SD カードからデータを取り込む］（☞ 本書 22 ページ）［USB デバイスからデータ取り込み］（☞ 本書 29 ページ）で、本製品にデータを取り込むときの設定をします。	
データ取り込み方法	・**すべてのデータを取り込む** ・差分データのみ取り込む
データ取り込み後の処理	取り込み後の動作を設定します。 ・内容を比較する 正しく取り込めているか検証します。 ・**何もしない** ・取り込みデータを削除する 正しく取り込めているか検証後、メモリカード /USB デバイス内のデータを削除します。 ・毎回確認する 取り込み前に、取り込み後の処理を確認します。
データ取り込み完了音	・**なし** ・短い（音量小） ・短い（音量大） ・長い（音量小） ・長い（音量大） ※コピー時は機能しません。

設定内容	設定値（太字：購入時の設定）
動画設定	
画面サイズ	• オリジナルサイズで再生 原寸の画像サイズで再生します。画面サイズ（640 × 480 画素）より大きい画像サイズの場合は、はみだした部分は表示されません。 • **フルスクリーンで再生** 画像全体が表示されるように、画像サイズを拡大 / 縮小して再生します。画像サイズによっては、画面の周囲に黒い帯が入ります。
再生方法	• **連続して再生** • 1 ファイルずつ終了
動画再生モード	• **ホームビデオ** • 映画 • 自然風景 • 省電力 • オリジナル
スライドショー	
効果	• なし • **ブレンド** • ランダム • タイル • ロール • フォトプレゼンモード

設定内容	設定値（太字：購入時の設定）
表示切り替え時間	1 秒、3 秒、**5 秒**、7 秒、9 秒、12 秒、15 秒、20 秒、25 秒、30 秒 ※画像の解像度（大きさ）によって設定した時間より長くかかる場合があります。
BGM	• **なし** • プリセット 1 • プリセット 2 • プリセット 3 • 再生リスト ※［再生リスト］は、再生リストを作成していないと設定できません。
時計を表示	• **する** • しない
音設定	
ガイド音	誤操作を音でお知らせします。 • **オン** • オフ ※［セットアップ］画面以外の画面のメニューでも設定できます。
操作音	• **オン** • オフ ※［セットアップ］画面以外の画面のメニューでも設定できます。
オーディオ音量	0 （1）----6---（**10**）-12-----18-----24 （消音 小さい←----------------------→大きい）
サインの設定	
サインの作成 / 削除を行います。 （☞ 別冊『印刷ナビゲーションガイド』20 ページ「サインを設定する」）	

設定内容		設定値（太字：購入時の設定）
画面設定		
画面の明るさ		1 2 3 4 **5** 6 7 8 9 10 （暗い ←――――――――→ 明るい） ※［セットアップ］画面以外の画面のメニューでも設定できます。
マニュアル色調整	色温度	5000K、5500K、6000K、**6500K** ※色温度の設定値（K）は目安です。設定値と実際の画面表示には多少のずれがあります。
	ガンマ値	1.8、**2.2**
	グレー（色調）	• **赤** • 黄色 • 緑 • 水色 • 青 • マゼンタ
	グレー（強さ）	• **なし** • 弱 • 中 • 強 ※［グレー（強さ）］を［なし］に設定しているときは、［グレー（色調）］の設定は無効になります。
	※設定し終わったら、［OK］を選択し【OK】ボタンを押します。【Back】ボタンで［画面設定］画面に戻ると、設定は変更されません。 ※購入時の設定に戻すときは、［設定を初期値に戻す］を選択し【OK】ボタンを押します。	

設定内容	設定値（太字：購入時の設定）
日時	
年 / 月 / 日 / 時 / 分（2008 年 1 月 1 日 12 時 00 分）	
日時表示形式	• **年月日**（例 : 20081224Y） • 月日年（例 : 12242008M） • 日月年（例 : 24122008D）
言語	
言語（Language）	• **日本語** • English（英語） • 繁體中文（繁体字中国語） • Deutsch（ドイツ語） • Italiano（イタリア語） • Espanol（スペイン語） • Francais（フランス語） • Nederlands（オランダ語） • 簡体中文（簡体字中国語） • Pyccko（ロシア語）

! 重要

言語設定を変更するときは

- 言語の設定を変更すると、フォルダが開けなくなったり、レーティング設定が解除されたりすることがあります。設定を元に戻すとファイルやフォルダにはアクセスできるようになりますが、レーティングなどは元に戻りません。
  言語の設定を変更する場合は注意して行ってください。

ソフトウェアをアンインストールする

Windows の場合

1 アンインストールするソフトウェアを選択します。

①[スタート]－[すべてのプログラム](または[プログラム])－[コントロールパネル]－[プログラムの追加と削除](または[プログラムのアンインストール])の順にクリック

②アンインストールするソフトウェアを選択し、[変更と削除](または［アンインストールと変更]）をクリック

参考

- Windows Vista をお使いの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。[続行]をクリックし、アンインストールを続行してください。

2 アンインストールを実行します。

画面の指示に従ってアンインストールします。

以上で Windows でのアンインストールは終了です。

Mac OS X の場合

参考

- アンインストールするには管理者権限が必要です。

1 本製品をパソコンに接続します。

本書 17 ページ「パソコンに接続する」

2 [P-XXXX_Mac_SOFTWARE]ファイルをマウントします。

①[P-XXXX] － [P-XXXX_Mac_SOFTWARE.dmg] の順で、アイコンをダブルクリック

3 Epson Link2 インストーラを起動し、ソフトウェアを削除します。

①[P-XXXX_Mac_SOFTWARE] － [Epson Link2] － [Epson Link2 Installer] の順で、アイコンをダブルクリック

②[続ける]をクリック



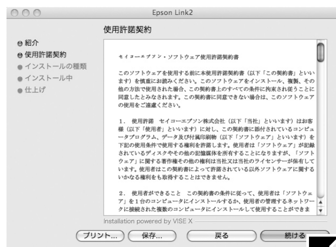


Epson Link2 Installer



③画面の内容を確認して［続ける］をクリック

使用許諾に同意するかどうかの確認画面が表示された場合は、［同意する］をクリックします。



④プルダウンメニューから［アンインストール］を選び、［アンインストール］をクリック



⑤アンインストール完了のメッセージが表示されたら［OK］をクリック

⑥［仕上げ］画面の［終了］をクリック

以上で Mac OS X での Epson Link2 のアンインストールは終了です。

索引

商標・規制などについて

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品を飛行機へ持ち込む場合の注意

本製品は手荷物として機内に持ち込んでください。空港での荷扱いによっては大きな衝撃を受け、本製品が破損したり、データが壊れることがあります。

著作権について

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

ライセンスについて

● ISO 準拠の MPEG4 の再生について

本製品は、使用者が私的且つ非商業的用途で、（i）MPEG-4 ビジュアルスタンダード（MPEG-4 VISUAL STANDARD）に準拠する映像（MPEG-4 映像“MPEG-4 VIDEO”）をエンコードすること、および / または（ii）使用者の私的且つ非商業的活動によりエンコードされた、および / または MPEG-4 映像を提供することについて MPEG LA よりライセンスを受けた映像プロバイダより得られた MPEG-4 映像をデコードすること、について MPEG-4 ビジュアル特許ポートフォーリオライセンス（MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE）の下にライセンスを受けた製品です。上記以外のいかなる用途についてもライセンスの許諾および黙示の許諾はなされておりません。宣伝、内部および商業使用ならびにライセンスに関する追加情報については、MPEG LA, LLC より取得することができます。
詳しくは＜ Http://WWW.MPEGLA.COM ＞をご覧ください。

● MPEG4-AVC（H.264）の再生について

本製品は、使用者が私的且つ非商業的用途で、（i）AVC スタンダード（AVC VIDEO）に準拠する映像をエンコードすること、および / または（ii）使用者の私的且つ非商業的活動によりエンコードされた、および / または AVC VIDEO を提供することについてライセンスを受けた映像プロバイダより得られた AVC VIDEO をデコードすることについて、AVC 特許ポートフォーリオライセンス（AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE）の下にライセンスを受けた製品です。
上記以外のいかなる用途についてもライセンスの許諾および黙示の許諾はなされておりません。追加情報については、MPEG LA, LLC より取得することができます。
詳しくは＜ Http://WWW.MPEGLA.COM ＞をご覧ください。

● MP3（MPEG-1 Layer 3）再生について
MPEG レイヤー 3 オーディオ技術（MPEG Layer-3 audio coding technology）はフラウンホッファー IIS（Fraunhofer IIS）およびトムソン社よりライセンスされた技術です。

商標について

● Apple、Mac、Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

● Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

● 本製品が対応している Windows の OS（オペレーティングシステム）は以下の通りです。
・ Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
・ Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
・ Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版

本書中では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Vista」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

本製品が対応している Mac OS のバージョンは以下の通りです。
Mac OS X v10.3 以降

本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて「Mac OS X」と表記していることがあります。 また、アップル社製のコンピュータを総称して「Macintosh」と表記していることがあります。

●「Photo Fine」は、セイコーエプソン株式会社の日本およびその他の国における登録商標または商標です。「Photo Fine Premia」は、エプソンイメージングデバイス株式会社の独自技術です。

● Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Photoshop CS、Adobe Photoshop Elements、Adobe Bridge は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。

● その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

● QuickTime and the QuickTime logo are trademarks or registered trademarks of Apple Inc., used under license therefrom.

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C61000-3-2 に適合しております。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはコンピュータ、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

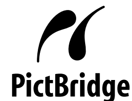
本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。 本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

データのバックアップについてのご注意

本製品の故障により修理を依頼される場合、パソコン、外付けハードディスクなどへのバックアップが可能な状態であればデータのバックアップを必ずお取りください。
修理状況によっては、データが消失してしまうことや、復元できないことがありますが、本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。
データのバックアップ作業および復元作業は、弊社では行っておりません。お客様の責任の下、お客様ご自身で行っていただきますよう、お願いいたします。

Photo Fine Premia







Multimedia Storage Viewer™ P-7000/P-6000 操作ガイド

EPSON

●エプソンのホームページ http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

【電話番号】 050-3155-8033

【受付時間】 月～金曜日9:00～20:00 土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-589-5252へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。 http://www.epson.jp/support/

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター：0263-86-7660 ・東京修理センター：042-584-8070 ・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

【電話番号】 050-3155-7150

【受付時間】 月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日は除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/

＊平日の17:30～20:00（弊社指定休日含む）および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通航空で代行いたします。

＊年末年始（12/30日～1/3日）の受付は土日、祝日と同様になります。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しており、一部のPHSやIP電話事業者からはご利用いただけない場合があります。
上記番号をご利用できない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけください。

●講習会のご案内

詳細はホームページでご確認ください。
http://www.epson.jp/school/

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2009年7月現在）

エプソン販売株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

コンシューマ(SC/DSC) 2010.01

